

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【114】
2. 日時：令和4年3月10日 13時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全規制調整官、忠内安全管理調査官、江崎企画調査官、齋藤企画調査官、義崎管理官補佐、植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部（正）主任安全審査官、三浦主任安全審査官、藤川安全審査官、岩崎安全審査官、宇田川安全審査官、服部（靖）安全審査専門職、藤田審査チーム員、中村原子力規制専門員、谷口技術参与、山浦技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他19名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 安全総括室 課長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁ナカムラですそれでは地盤移設購入ヒアリング始めたいと思います。ご説明よろしくお願ひします。
0:00:12	中国電力の内藤です。
0:00:14	初めに、本日のヒアリングを進め方についてご説明させていただきます。
0:00:20	まず、個別項目のヒアリング回答を実施させていただいた後に、審査会合の資料についてのご説明を考えております。
0:00:31	初めに、非常用電源設備、皮膚対策。
0:00:35	この2月に4日のヒアリングコメント回答を行いましてご審議いただきまして、
0:00:40	そのうち、計測装置の構成。
0:00:44	この後、
0:00:45	S G T S原子炉ウエル排気ライン。
0:00:48	デザイナーについてのヒアリングなり、
0:00:53	そこで休憩少し休憩を挟ませていただきまして、
0:01:00	続きましてブローアウトパネル閉止装置のヒアリングコメントの回答。
0:01:07	この後に、審査会合の資料のご説明
0:01:10	ということで考えており、
0:01:11	進め方についてはよろしいでしょうか。
0:01:18	はい。秋吉関です。それをお願い。
0:01:22	中国電力の内藤です。
0:01:25	それでは資料確認の方させていただきます。
0:01:28	資料全部で12図書、すべて資料提出日は3月7日のものになります。
0:01:36	一つ目、ちょっと資料が多いので、番号取りをさせていただきたいと思ひます。
0:01:42	①としましてNS2他、
0:01:46	0055階01。
0:01:50	②。
0:01:51	としまして、NS2を012階02。
0:01:57	③としまして、NSに岡052階ゼロイチ
0:02:03	④としまして、NS2を009階06、
0:02:09	05としまして、NSに岡054階ゼロイチ
0:02:15	⑥としまして、NS2を011階06、
0:02:21	07としまして、NS2他、053階ゼロイチ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:27	⑧としまして、NS2.1。
0:02:30	－029 階 02。
0:02:34	⑨としまして、NS2.1029 階 0 に企画費。
0:02:41	⑩としましてS2 法、020 回 05、
0:02:46	⑪としましてNS2 他 067。
0:02:51	⑫としまして、NS2 ほか、
0:02:54	71
0:02:56	以上でございますが、資料はおそろいでしょうか。
0:03:03	規制庁中野です。大丈夫ですよろしくお願いします。
0:03:07	中国電力の内藤です。
0:03:09	それでは、非常用電源、皮膚対策の、
0:03:12	ヒアリングコメント回答のご説明に移らせていただきます。
0:03:19	中国電力の
0:03:25	中国電力のミユキです。
0:03:27	それでは、非常用電源設備に対する指摘事項の回答を、
0:03:31	説明させていただきます。
0:03:33	資料①の、
0:03:35	3 ページ目と 4 ページ目が、
0:03:38	今回該当する。
0:03:39	いう指摘事項になります。
0:03:42	No.17 と 19 については、
0:03:46	寄付以外の、
0:03:47	該当になりますため、後日回答とさせていただきます。
0:03:52	ナンバー18 について説明いたします。
0:03:57	資料②の、
0:03:59	119 ページをご覧ください。
0:04:05	前回のヒアリングにおいて、
0:04:08	この 5 ポツ項における、
0:04:10	記載の順序が、
0:04:12	先行PWRプラントの説明、島根 2 号機の説明。
0:04:17	BWRプラントの説明の順番で説明をし、
0:04:20	記載しておりましたので、
0:04:23	先行審査プラントとの比較を説明しやすいよう、
0:04:26	記載を適正化を図りました。
0:04:30	具体的には、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:31	先行PWRプラント全規模BWRプラントの、
0:04:37	ヒーフ対策の説明を行った後に、
0:04:41	島根2号機の
0:04:43	対策の概要を説明するように記載を見直しました。
0:04:49	以上がナンバー10番18の説明になります。
0:04:53	続きまして、
0:04:55	事業①の、
0:05:00	①のNo.20を、4ページ目、No.20を説明いたします。
0:05:09	資料②の、
0:05:12	通し番号17ページをご覧ください。
0:05:21	こちらの図は、
0:05:23	図3-3の方は、皮膚対策が必要な電気盤の系統図を示す図になります。
0:05:31	こちらの例の図の読み方の部分について、
0:05:36	当日の
0:05:40	資料②の、120ページの、ディーゼルのインターロックの説明に、
0:05:46	かかる記載を踏まえて、
0:05:49	日常用ディーゼルの受電遮断機の動作を伴ってディーゼル側の、
0:05:54	人事部継電器51動作により、非常用ディーゼル発電機を停止する旨を、
0:05:59	追記しております。
0:06:03	以上がNo.20の説明になります。
0:06:07	また、
0:06:08	今回、
0:06:10	コメント回答にあたって、記載の適正化を行っております。
0:06:15	資料①の、
0:06:17	一番、
0:06:18	最後、8ページ目をご覧ください。
0:06:22	資料②の、
0:06:24	78ページになります。
0:06:29	こちらの方で記載しております。
0:06:34	注釈の2番目の、
0:06:36	数値について、
0:06:40	資料②の通し79ページ目の、
0:06:43	同じ記載と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:47	資料 79、
0:06:49	ページ目の記載と同じような記載に、合わせて適正化を図っております。
0:06:55	以上、説明になります。
0:07:47	院長の方続けてですねお願いします。
0:07:58	中国電力の内藤です。
0:08:00	皮膚対策については、ご説明以上ですが、続けて計測装置を後世に移ってもあるしということでしょうか。以上です
0:08:10	はい。規制庁永松よろしく申し上げます。
0:08:26	電力の内藤です。
0:08:28	規制庁さんが音声か、
0:08:32	このところ入っているのですが、
0:08:35	大野です。ビデオつけると、ビデオについでるマイクが音声拾っちゃうみたいなんですよ。
0:08:44	何。手塚カメラですね。
0:08:47	カメラの御マイク動力を切るか何かしないとあれなんです
0:08:57	カメラの真上にマイクついてるです。
0:09:04	規制庁ナカムラすみません音声トラブルありましたのでちょっと改めて計測装置の構成の説明をお願いします。
0:09:12	中国電力の古田です。継続装置の構成に関するヒアリング指摘事項への回答について、資料番号 34 を用いてご説明させていただきます。よろしく申し上げます。
0:09:25	まず、資料番号③の指摘事項に対する回答整理表についてですが、本日もご説明予定の計測装置の校正に関するヒアリング指摘事項への回答並びに前回提出時間の変更について記載をしております。
0:09:40	本日のご説明は本回答資料や回答整理表を中心としながら定期補足説明資料を参照する流れで進めさせていただきます。
0:09:49	なお本日のヒアリング指摘事項への回答は、
0:09:52	審査会合案件に係る指摘事項のみを対象としてのご説明を予定しておりその他の指摘事項については後日回答予定しておりますため、ご了承願います。
0:10:04	それではまず、資料番号③をご確認願います。
0:10:09	4 ページ目をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:19	ナンバー26、審査会合の中でいただいた、設置変更許可申請時からの設計変更内容として説明したドライウェル水位計設置高さの変更確認、酸素濃度B系及び格納容器水素濃度B系継続範囲の変更に関連して、
0:10:36	同様の視点で他の計器に設計変更がないか説明することのコメントについて、前回ヒアリングにて、放射線モニターのうち、低レンジ及び高レンジを有する設備は、
0:10:47	現状の自動切替の対象外であることを説明することの追加コメントをいただいたためご説明させていただきます。
0:10:54	不同資料の1ページ目をご確認願います。
0:11:03	ナンバーワンをご確認願います。
0:11:13	回答欄の下から5行目の記載を小分けに願います。
0:11:20	格納容器酸素濃度PK及び格納容器水素濃度B系継続範囲の変更は、複数の継続レンジを持つ継続装置のレンジの自動切替という本計測装置9の機能により生じた問題あり、
0:11:34	同様に複数の計測レンジを持つ核計装放射線モニター及び流量計については、レンジの自動切替機能を有していないため想定されないことを確認しております。
0:11:46	ここで下から2行目のところ、文章において放射線モニター及び流量計についてはツアー5時で抜けておりますため、訂正させていただきます。
0:12:01	本南波については以上となります。
0:12:06	4ページ目に戻ります。
0:12:15	ナンバー27 研修圧力遂行定期、及び燃料域のDBKSN主事系に関する記載について、設計基準対象施設及び重大事故対象設備の指示系との記載では、
0:12:30	DBAの指示系、SAの主事系がそれぞれ存在するようにも読めるため、重大事故等対処設備として兼用する設計基準対象施設の指示系統、記載を適正化しました。
0:12:44	詳細については割愛させていただきます。
0:12:49	続いて、
0:12:51	ナンバー2930をご確認願います。
0:12:58	補足説明資料の格納容器酸素濃度、水素濃度に関する表1-6 継続範囲変更後の各運転状態における改正について、表の中で継続範囲についての説明がないこと、及び、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:12	重大事故等における格納容器水素濃度の計器誤差について、数値的説明がないことについてコメントいただいているためご説明させていただきます。
0:13:21	資料番号④について、22 ページ、通し番号 27 ページをご確認願います。
0:13:40	表 1-9、記述管変更後の各運転状態における監視性です。
0:13:50	経営者のコメントについては、表の説明の中で登場するか計測レンジの記載について、数値を括弧書きで追加しております。
0:13:59	また、後者のコメントについては、重大事故等の水素濃度欄の上から 3 行目からの記載をご協議願います。
0:14:07	重大事故等時における水素濃度は、操作等の判断基準でないことに加え、変更後のナローレンジ 0 プラン 20 ボリューム%によるドライ誤差。
0:14:18	プラマイ 0.5 ボリューム%での監視は、変更前のワイドレンジ 0 から 100 ボリューム%によるドライ誤差プラマイ 2.55 流%での監視より軽微交差縮小となるため、改正に影響はないと整理しております。
0:14:33	ここで、変更前の会社がワイドレンジであることについては、注記 2 に記載の通り、変更前におけるナロー切換設定値は 3.0 ボリューム%であるため、
0:14:44	事故初期の水濃度水素濃度上昇以降、可燃領域 4 ボリューム%及びは 5 隆起、13 ボリューム%の監視はワイドレンジ 0 から 100%となることによります。
0:14:58	ヒアリング指摘事項への回答については以上となります。
0:15:02	続いて、前回提出時からの規制の適正化箇所のご説明に移らせていただきます。
0:15:12	再度、資料番号③に移らせていただきます。
0:15:23	7 ページ目をご確認願います。
0:15:29	ナンバー18。
0:15:31	前半ヒアリングの初めに口頭にて訂正させていただいた通り、補足説明資料の表 1-5、格納容器酸素濃度功刀水素濃度の気液計測範囲及び黄砂の変更前における、
0:15:44	酸素濃度は井戸理事の We t 誤差に関する記載にご異議ございまして、改めて資料として訂正しております。
0:15:51	プラマイ 0.78 ボリューム%という記載が、誤りであり、プラマイ 0.8052%が発生となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:01	詳細については前回説明の通り割愛させていただきます。
0:16:07	No.19、補足説明資料の表1-6。
0:16:11	継続会員変更後の各運転状態における改正について、規制レベルの統一から秩序運転における酸素濃度に関する記載を数値含めて修正いたしました。
0:16:22	こちら内容については変更はないため詳細については割愛させていただきます。
0:16:29	ナンバー20、補足説明資料の表9-1、設置変更許可申請における審査資料からの変更について。
0:16:37	変更前の原子炉圧力水位高定義及び燃料域のDB係数へのCTO設置予定であった坂野規制が、中央制御室の整理をまとまっております、対象の盤が不明確であったため、
0:16:50	中央監視操作盤に記載を適正化していただいております。
0:16:55	こちら記載レベルの整合という観点でございます、詳細については割愛させていただきます。
0:17:02	計測装置関係のご説明は以上となります。
0:17:12	規制庁の義崎です計測装置のエース測定範囲のところの、
0:17:18	対カーですけども22ページかな。
0:17:23	向きがあっちのところなんですけども。
0:17:26	まあそうそういうことはわかったんですけどももともとその上の方の、この2点あって水素酸素濃度の方は、
0:17:36	もともとの
0:17:42	もともとの誤差。
0:17:44	そして0点、甘い。
0:17:47	プラマイ0.5%を考慮していて、
0:17:49	今回の変更後の0.25でも、0.5以内だから、
0:17:55	大丈夫ですよってことなんですけど、こちらの水素濃度系は同じことは言えないんですが、例えばその4%の水素濃度に対して、
0:18:04	もともとの想定していた5社は幾つで、
0:18:10	嘘、その中に入るといことにはならないんですか。
0:18:16	中国電力の古田です。酸素濃度につきましては、1便と判断基準という基準値に対して、こちらの0.5ボリューム%というものが存在しております、
0:18:28	具体的には5%というところに対して計器誤差の0.5%のマージンを考慮して早めに判断を行うというためのものの。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:40	マージンの値というところが設定されておりますが、水素濃度については、操作等の判断基準に用いないことから、このような酸素濃度のように、
0:18:51	運用上定められて、考慮するべきと設定されている誤差の基準値っていうものは存在しません。
0:18:59	ただし、こちらの現状の変更後の0.5ポージングパーセントでの誤差が存在するということは、運転員の中で念頭に置いて、うん。事故時の対応を行っていくものと考えております。以上となります。
0:19:44	規制庁の薄井です。の、
0:19:47	ところの文章、何だ。
0:19:51	変更前のワイドレンジによるドリフト誤差がプラマイ2.5D。
0:19:56	それよりも小さくなるっていうことなんですけどだからそもそも2.5%。
0:20:02	が、何ですかね。
0:20:05	4%に対する計器誤差の、
0:20:10	設計値というか、
0:20:12	許容値、
0:20:13	だったってことですかね。
0:20:28	中国電力の古田です少々お待ちください。
0:21:07	中国電力の古田です。お待たせいたしました。
0:21:10	変更前の2.5504%という黄砂は、崩れ落ちというものではなく、こういった操作等の判断基準となったり警報の設定点と、インターロックの設定点となるような、
0:21:24	ものではない。通常の監視機能につきましては、あまり具体的なクライテリアとなる胸中は存在していません。ただし可能な限り誤差というものは、
0:21:36	低いければ低いほど、運転員の正しい判断が可能になるものと考えておりますため、今回のように変更することによって可能な限り誤差を小さくするという、
0:21:48	監視性の向上に努めたものとなります。以上となります。
0:22:46	規制庁の吉崎です。
0:22:47	そもそもその原則、水素濃度計を設置するときの設計の考え方みたいのってのは、
0:22:56	何かナイトウ、何だ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:00	要は、計測範囲が設定できないから、そういうところを聞いているんですけど、結果的には
0:23:08	ワイドレンジで測るところなる西田カラー、
0:23:11	より、
0:23:12	計測誤差が縮まるので影響ないってのは、それはそうなんですけど、もともと、
0:23:18	もともと目指してた設計はどんなのかっていうのを聞いてるんですけど。
0:23:26	中国電力の古田です少々お待ちください。
0:24:13	お待たせしました。中国電力の古田でございます。
0:24:16	もともとのDBとしての、こちらのCAMS格納容器酸素濃度水素濃度の水素濃度における計測の考え方につきましては、
0:24:27	設計基準事項のシナリオを考慮した上で、
0:24:33	もともとの変更前の継続レンジ5%というところ。
0:24:40	設計基準の評価上濃度が超えないというところを考慮した上で
0:24:47	ワイドレンジに切り替わらず、計測が可能であるという判断のもと、
0:24:53	5%というところの、計測範囲等レンジの計測範囲を設定しておりました。
0:24:59	今回は重大事項というところを視野に入れた際に
0:25:06	事故シナリオの中で水素濃度っていうところが、5%を上回る数値というところにまで想定されることになったため、切り換えという次考えを新たに、
0:25:19	設定点を変更する必要があるという考えに至り、このように、レンジが切り替わらない値として設定したものとなります。
0:25:28	以上となります。
0:26:43	規制庁の井関です。もう、もう一度その今の説明してます
0:26:48	5%の時の凄さが、
0:26:52	というところから少し、
0:26:55	もう1回説明してください。
0:27:00	大変失礼いたしました。中国電力の古田です。21ページの表1-5を参照しながらご説明させていただきたいと思います。
0:27:12	資料ナンバー
0:27:14	④番ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:25	よろしいでしょうか表 1-5、格納容器酸素濃度確認水素濃度のケース会及び口座の変更前の格納容器水素濃度の計測範囲というところを確認いただければと思います。
0:27:37	もともとのこちらの計測範囲の 0.5 ボリューム%なるオレンジ 0 から 100 ボリューム%ワイドレンジという設定の考え方について、
0:27:48	設計時基準事項対象施設としての、DBシナリオとしましては、水素濃度が小堀 2%を超えることはなく、
0:27:59	また、ワイド切換設定値にも到達しないということを想定していたため、
0:28:07	4 ボリューム%前後の値を最もセールが監視できる設計として、可能な限りナローレンジを狭め、0 から 5 ボリューム%の値っていうレンジを設定し、
0:28:22	濃さっていうものの縮小に努めておりました。
0:28:26	一方で今回の変更後における 0 から 254%、0 から 159%というものは、重大事故時のシナリオを考慮しまして、水素濃度というものが、
0:28:39	午後 12%を超え、ワイドレンジに切り替わり、その後ナローレンジに切り換ええないという事象が新たに想定されることとなったため、
0:28:50	そのような場合においても可能な限り
0:28:55	452%では、中部さんボリューム%という値を精度よく監視するため、レンジというところを、ななるレンジを 0 から 20 ボリューム%に、
0:29:05	拡大し、
0:29:09	重点的にに関して項目を同等レンジで、
0:29:13	見るという設計変更を行ったものとなります。以上となります。
0:29:42	規制庁仲間ですすいませんちょっと理解がないのかもしれないですけど、もともと水素濃度系っていうのは、DB設備として、
0:29:53	作ったので、4%を、
0:29:57	で監視できるようになってことで、小さい、誤差が小さくなるように、5%5%までっていうことでやったんですけど、SA の設計思想としてはもともと考えてなかったので、
0:30:09	判断基準もないから、この誤差のところは考え、
0:30:15	出なかったっていう。
0:30:17	ことに理解したけどそ、一応そういう理解は合ってますか。
0:30:28	中国電力の古田です。ご認識の通りです。以上となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:38	規制庁の石崎です7、こちらからちょっと質問の意図が通じているかの確認なんですけども、酸素濃度の方は、ベント判断基準があってそれより
0:31:51	安全側に、誤差を考慮しているけども、こちらの水素濃度側はそういったものがないから、
0:31:59	だから、そういう誤差も考えてなかったとそういうことですか。
0:32:26	中国電力の古田でございます。重大事故時の水素濃度につきましては、もともと切換設定値という値ってところの詳細な確認ができていなかったため、
0:32:39	もともと0.16%通る鉛直ボーリング%程度の誤差で、可燃限界というところが監視可能なものかと想定していくためこのままの設計で進めたいと、EPの際には考えておりました。
0:32:55	しかしながら、今回
0:32:59	危惧切換設定値という点を踏まえますと、
0:33:05	ワイドレンジでの監視に至るということが、確認されたため可能な限り公差を縮小されるするため、ワイドドリフワイドレンジかな限り公差の小さいなどレンジで干渉するため、
0:33:19	等レンジの計測範囲を拡大したものとなります。以上となります。
0:33:58	規制庁の遊佐です。とりあえず今回のその設計変更によって、ワイドレンジからなるなるから、改正に影響ないってのは、それはわかっています。わかったので、
0:34:11	ちょっと上、上との比較で、少し差があるのでその辺をどう、何か埋められないかなと思って確認していたところなんですけども。
0:34:27	何か付け加える。
0:34:30	というようなものはないですかね。
0:34:33	わかりやすさの観点で、
0:34:50	中国電力の古田でございます。繰り返しのご説明となり恐縮ですが、水槽濃度の方につきましては、酸素濃度のような基準となる
0:35:01	クライテリアの変更3価というものが存在しないため、可能な限り
0:35:08	黄砂を縮小する。
0:35:10	ものを、
0:35:11	設計を見直したというそういった方向の、
0:35:16	具体的な数値書くというのではなく、可能な限り精度向上という点でこのように変更したといったそういった旨の記載でも問題ないでしょうか。以上となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:30	はい。規制庁の井関です。そそうですね。それで、
0:35:35	そうそうなんで、そっちの方がいいのかな。少し少し何かやわらかくなってる気がするんですけど。
0:35:40	今回のそういうケースなんか設計変更によってってところ。
0:35:47	ワンクッション入れてですね。
0:35:50	はい。少し
0:35:53	ウェイトの差分がないように、差分があるんだけども、何かすごい差、差が出てるような感じがするんで。
0:36:01	水素濃度がそう、そういうもんだというところに、
0:36:07	そうですね。記載を検討いただければと思います。ちょっと難しいかもしれませんが。
0:36:15	中国電力の古田です称しました、記載の適正化を検討いたします。以上となります。
0:36:26	規制庁の義崎です。
0:36:28	土佐。
0:36:29	キホドウの表の下かな、ちょっと気になったんでちょっと活気。
0:36:34	書きぶりだけなんですけど。
0:36:36	何だっけ、明日の。
0:36:39	目の。
0:36:41	水素濃度の※2かな。
0:36:43	五味のところ追加した文章で最後。
0:36:47	要は変更前における切換設定値3%であるため、こちら患者ってあって、
0:36:53	可燃領域爆燃領域の会社ワイドレンジ。
0:36:57	となる。
0:36:58	ていうんだけど、これトマトなるって何か変更前、だから変更前はそういうふうにしていたってことで、
0:37:05	前はそうだったけどっていうふうな、
0:37:07	記載にして欲しいんですけども、今回ですか。
0:37:14	中国電力のフルタでし承知しました。記載の適正化を検討いたします。
0:37:22	規制庁の義崎ですはい。よろしく申し上げます。
0:37:26	はい。とりあえず計測はいいかな。はい。
0:37:29	この次は、
0:37:34	はい、では続けて説明申し上げます。
0:37:43	中部電力の中嶋です。それでは、SGTSを原子炉ウエル。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:48	I T水原委員の、
0:37:51	指摘事項の回答。
0:37:52	ご説明をいたします。資料ナンバー資料番号でいくと、⑤と⑥の資料になります。
0:37:59	まず⑤の回答整理表の、
0:38:02	ナンバー1から説明していきます。
0:38:05	分析の内容といたしましては、建物の負圧維持、
0:38:09	を確認する圧力計の配置及び負圧について説明すること。
0:38:14	というご指摘でして、
0:38:16	資料⑥の、
0:38:19	通しで4ページ目をお願いします。
0:38:25	こちらで下側に図1、非常用が処理系系統概要図。
0:38:29	の見て左上、
0:38:32	人圧力計の図示をいたしまして中期の方で、里家は原子炉建物原子炉棟燃料鳥飼海藤。
0:38:40	大気との差圧を監視するものであり、4個設置しているという旨の記載を、
0:38:45	追記しましてまた上段の1ポツはじめにの中のこの資料中ですが、
0:38:51	9月については約6ミキヤ9という記載を追記しています。
0:38:56	続いて次のご指摘でトラス室からの吸込側、トラス上部は違ったことによる悪影響等を説明することということで、
0:39:06	先ほどの資料ナンバー6の、
0:39:10	次の6ページをお願いします。
0:39:15	こちらの図①原子炉建物原子炉棟内の負圧維持。
0:39:18	という項目の中の2段落目、このためという手法と書き出しからで、黄色くハッチングしているサイショの記載。
0:39:26	原子炉建物原子炉と事業界の空気は集荷いずれ大物搬入行為。
0:39:31	何かを受けるし、
0:39:33	地下階の空気は、原子炉建物原子炉は原子炉建物空調換気系排気ダクト、
0:39:38	の近くの流路面積より大きい開口面積である。
0:39:42	小浦出場町を經由すること。
0:39:45	によりという記載を追記いたしまして、浦野でもともと流路として、原子炉棟空調関係の排気ダクトを使用してましたけども今回いらした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:56	場合でもそれより大きい開口であるトラス上部ハッチを經由することになりますので問題がないということで、この記載を追記しております。
0:40:05	続いて回答整理表の、
0:40:08	ナンバー3。
0:40:10	私は、1階から燃料取替階まで吹き抜けがあることを説明することということで、
0:40:15	資料ナンバー6。
0:40:17	資料⑥の通しページ8ページ目に図5として、
0:40:23	原子炉建物原子炉棟の断面図。
0:40:25	を追加しています。
0:40:28	こちらの中で大物搬入高ドイ示していますけども、1、
0:40:33	トラス室の上部発注をすべて示しますが受血下階から、
0:40:37	燃料取替様
0:40:39	戒告で繋がっていることを示しています。
0:40:43	続いて回答整理表No.4ですが、
0:40:47	吸込口に異物混入防止の網があることを説明することということで、
0:40:51	ナンバー6の資料。
0:40:54	通しページで、5ページ目。
0:40:56	の写真ですけども、
0:40:58	もうちょっと網。
0:41:00	写真を拡大しまして、あと、注記ですね、矢印で吸込口示してる最中に、
0:41:08	異物混入防止用の網を含むということで、
0:41:11	記載を追記しています。
0:41:15	続いて、回答整理表No.5。
0:41:18	で、知的内容が負圧を達成する時間について、吸込口の位置変更による影響の有無を説明することということで、
0:41:26	No. 06706の資料の、
0:41:30	50ページの6ページ。
0:41:33	中段より少し下のなお書きの記載ですけども、非常用ガス処理系による負圧達成時間について、机上評価では、
0:41:40	起動後約150秒と評価しているのに対して実機においては吸込口の閾値変更によらず、105分程度であり問題ないことを確認しているというのを追記をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:55	中国電力の鹿野谷津。引き続きまして、原子炉ウエル側のご説明をいたします。指摘事項回答整理表のナンバー6 からになります。
0:42:05	あとNo. 678 をまとめてご説明いたします。
0:42:09	資料ナンバー6 の、
0:42:12	13年pHを7ページで言いますと13ページをお願いいたします。
0:42:23	こっこの図なんですけれどももともとは対策合同図しか載せてませんでしたけれども、
0:42:29	まず対策前と対策後、二つの図にしてございます。
0:42:33	あとあわせまして凡例ですけれども、凡例が右側の方になりましたが、それを下に持ってきまして、図の方を見やすいと見やすくなるよう、拡大をしております。
0:42:46	あと、対策後の図ですけれども。
0:42:50	真ん中の方の、
0:42:52	オレンジのライン、原子炉ウエル排気ラインがありますけれども、こちらの方は平時で、溶接構造にするというところを明記しております。
0:43:03	また、左の方、左下の方ですけれども、
0:43:07	こちらの原子炉ウエル水張ラインの方で、この仮想化に繋がるラインが、
0:43:14	ありまして、ドレン弁が途中にありますけれども、
0:43:18	こちらの接続先としては、原子炉建物機器ドレンサンプタンクになりますので、そちらの方を追記しております。
0:43:30	続きまして、指摘10行回答整理表No.9。
0:43:35	をご説明いたします。
0:43:36	ページで言いますと、
0:43:38	14ページ、50ページで14ページをお願いいたします。
0:43:47	こちら表7-1がありますけれども、こちらが、
0:43:53	メールの排気ラインの閉止前、
0:43:55	の廃棄不良ということを明記しております。
0:43:58	またあわせまして、文章中ですけれども、
0:44:03	7ポツ3ポツ1の、最後の方の文章を追記しております。
0:44:09	あと、こちらももともとは、
0:44:13	こっこの原子炉ウエル排気ラインについてはもともとは空調バランス。
0:44:17	武道場の施錠の不良としては、考慮しておりませんで、もうほとんど廃棄されていない状況でしたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:26	こちらの0立米パーアワー過去成り行きと表現しておりましたが、今回完全に閉止いたしますので、0、
0:44:35	立米パーアワーに、
0:44:36	なりません。ですのでもともと空調バランス上の不良として考慮しておりませんでしたので、空調バランスへの影響ほとんどないと考えられますので、
0:44:47	当該ラインの吸い込み口閉止による悪影響はないと考えております。
0:44:55	ちょっと回答整理はNo.10。
0:44:57	のご説明に移ります。
0:45:00	1ページで言いますと、12ページをお願いいたします。
0:45:09	こちらの方に原子カシールドプラグの構造の図を載せてございます。
0:45:15	下が断面図になってまして。
0:45:18	このシールドプラグ上から見た図が、
0:45:22	上の図になってございます。
0:45:25	スリットはバーの方を明記させてもらいまして、
0:45:28	こちらスリットにつきましては、図の通り、四つございます。
0:45:39	ナンバーでのご説明は以上になります。
0:45:42	続きまして記載適正化箇所がございますのでそちらの説明に移らせていただきます。
0:45:48	資料ナンバー5の、
0:45:51	5ページ。
0:45:54	No.19からなります。
0:46:04	まずNo.19ですけれども、こちら通すページの11ページ。
0:46:09	お願いいたします。
0:46:15	上の7ポツ1ポツ2で原子炉棟空調は、排気系ダクトとありますけれどももともと、
0:46:23	失礼しました。
0:46:25	もともと廃棄妥当と書いてましたけれども、廃棄という言葉削除しております。用語の統一の観点で削除してございます。
0:46:34	続きましてナンバー20ですけれども、こちら通しページ11ページの、
0:46:40	7ポツ2ポツ1、
0:46:42	最初の黄色の着色部になりますけれども、こちらは解析上の、
0:46:48	水素ガス経路の明確化の観点で記載を追記をしてございます。
0:46:54	続きましてナンバー21になりますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:58	こちら同じくポツ2ポツ1の下の方の着色部になりますけれども、
0:47:05	こちらは対策内容をより明確化するという、
0:47:09	明確化させる観点で記載を適正化してございます。
0:47:16	鵜沼20につきましては図番号の修正ですので割愛させていただきます。
0:47:22	ナンバー23につきましても、用語の統一の観点で、
0:47:26	ページで言いますと14ページ。
0:47:29	になります。
0:47:34	こちら7ポツ3ポツ1で原子炉ウェルという言葉を追記をいたしまして、用語の統一を図ってございます。
0:47:47	続きましてナンバー24。
0:47:49	ご説明に移らせていただきます。
0:47:52	こちらも同じく14ページの、
0:47:54	7ポツ3ポツに、
0:47:56	になりますけれども、
0:47:58	こちらのシートパススルーところの対象を明確化。
0:48:05	するという観点で記載を適正化してございます。
0:48:10	あと最後No.25になりますけれども、
0:48:12	7ポツ4で、
0:48:16	原子炉ウェル水張ラインについての耐震補強の目的について、誤りがございましたので適正化を図ってございます。
0:48:28	説明は以上になります。
0:48:46	規制庁の吉崎です。
0:48:48	説明ありがとうございましたえーとですね。
0:48:51	最初の方のSGTSのところは何点か確認なんですけど。
0:48:56	何だっけ。
0:49:26	規制庁の義崎です補足の⑥の資料の、
0:49:32	4ページで先ほど圧力計、差圧計が4個あるって言ったんですけども。
0:49:38	よって、どこに配置されているか、説明してますか。
0:49:49	中国電力の福間です。当該の差圧計についてはですね各方向、東西南北、
0:49:56	のに対してですね差圧を検出してる形になります。以上です。
0:50:04	規制庁の義崎ですそうするとそのエレベーションは同じなんですかね。
0:50:16	旧連絡フクマで少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:36	中部電力の場所でちょっと確認時間がかかりそうなので、次のご質問があれば、よろしくお願いします。
0:50:41	アクシーズの井関です。コメントとしては四つの配置を明確にしてくれてことなんで、回答があっても、ちょっと資料に反映していただきたく、
0:50:51	よろしくお願いします。
0:50:54	中部電力の加島です。了解いたしました。
0:50:58	規制庁の吉崎です。あと、先ほど排気ダクトの面積、
0:51:02	について液位の 86 ページのところですね。
0:51:09	排気ダクトの近くに色面積より大きいトラス上部ハッチを経由するのは、各々どれぐらいの大きさ。
0:51:17	为什么呢か。
0:51:33	聴カナカシマです。少々お待ちください。
0:51:40	あ、規制庁の湯田ですこれも同じように明確にしてくれてことなんで、反映していただければと思います。
0:51:52	中国電力の田原です。了解しました。一応、
0:51:56	期待するとトラス室上部、
0:52:00	あっちの開口面積は約 3 平米。
0:52:05	地下階からの空調ダクトの合計にはなりますけれども、
0:52:11	ダクトの開口面積、流路面積は約 1 平米程度というところになりますのでここ、資料の方に反映したいと思います。以上です。
0:52:24	規制庁の臼井です。3 立米と 1 立米の方はダクトの合計って言いましたよねそうすると。
0:52:33	トラス室側を閉止する。それを小さいってことでしょうか。
0:52:43	中国電力の田原さん、編集は。
0:52:47	特にはしておりませんが、
0:52:51	上部ハッチの開口面積に比べて、
0:52:55	地下階から、
0:52:59	上の方に、やってくるはい。
0:53:01	木田区等については、
0:53:05	約 1 平米ということであっちの方がおっきいってところです。以上です。
0:53:14	規制庁ナカムラです先ほどの、ダクトの流路面積合計って言われましたけど、何ヶ所かにあるってことですかね。
0:53:23	中国電力の田原です地下階、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:27	それなりに広いですので複数の経路から、ダクトが上層階の方に渡って ますので、ケーヨーとしては複数ございます以上です。
0:54:03	規制庁ナカムラすみませんちょっともう一度確認なんですけど、
0:54:08	トラス室にあるダクトが何ヶ所かあって、当用性質単体っていうか出 す内にあるダクトの合計面積が、先ほど言われた1立米っていうこと ですかね。
0:54:25	はい、中国電力の田原です。はい。ご認識の通りで、
0:54:30	空調関係ダクトは各フロアからどんどん母管と言いますか、大きいとこ ろにどんどん集約されていきますのでトラス室からA棟、
0:54:42	航空フロアだったり部屋を通っていきますので複数、
0:54:48	あってですねそれらを足したものが、本、先ほど申しました、約1平米 というところになります。以上です。
0:55:08	規制庁ナカムラ了解しました。
0:55:12	同じような構造で、その上の上階のほうも、何ヶ所かにあってそれが母 管というか、母線というかに繋がっ。
0:55:22	ているという理解でよろしいですか。
0:55:30	中国電力の田原ですはい、ご認識の通りです。
0:55:34	規制庁仲です。何かそれって例えば配置図とかにその場所とかって、
0:55:42	書いたりとかって可能ですかね。
0:55:50	中国大学の田原です。
0:55:55	正直、書こうとするとかなり複雑で救急機排気、いろんなファクター方 向、
0:56:05	何ていうんすかね
0:56:07	ちょっと表現しなくちゃいけないですね、例えば、家から病院に行っ て、BからCの部屋にいて、そこからまた合計とか、ちょっとそいつ た形になってそこをちょっと複雑にはなるので、
0:56:22	可能であれば、図1に少しもうちょっと、
0:56:29	具体化したイメージでちょっと表現させていただきたいなと思っていま すが、
0:56:35	いかがでしょうか。
0:56:44	規制庁長さんのイメージにはその配置図に、ちょっと簡単に書いていた くようなイメージなんですけど、ちょっと確認したのが今、
0:56:54	トラス室の吸込口が閉止されて、
0:57:01	8カっていう形になると思うんですけど、それに対して要は、ここに吸 込口があって合計が先ほど10立米でそれに対して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:11	そのH a t c hだけになってその発注3立米ですっていうのが、図からわかると、合計っていうのがわかるといいなっていう形でちょっと簡単に吸込口のところが位置がわかるといいなっていうのがこちらのちょっと。
0:57:25	指摘というかできれば書いていただきたいなというふうなところですか。はい。以上です。
0:57:43	中国電力の田原です。ちょっと本日マスキング範囲にはなってますけれども近く会の、
0:57:52	配置図あります。
0:57:57	分ズー。
0:57:59	14ですか。
0:58:07	ちょっと本日も、
0:58:09	ありませんけれども吸込口と、本日先ほど申しました1平米っていうのは、吸ってきたダクトの、
0:58:19	地下階で一部交流して、
0:58:23	上の階に行くべく等、何ヶ所か拾ってきた、その開口面積になりますので、また吸込口。
0:58:30	ていうとちょっとまた、
0:58:32	とか数等、そのバックの数は一致しない、いいんですけども、
0:58:39	その1D a y簡単な正組口とか、ちょっと考えたいと思いますただ、先ほど申しましたように例えばトラス室から、
0:58:48	E C C Sのポンプ室の方に抜けたり入ったりみたいなのところがありまして明確なちょっと表現が、正直言って難しいというところが、
0:58:57	ございますので、
0:59:02	少しこの辺りにあるよっていうのが、吸込口と、ダクトの上下階での貫通箇所、ちょっとそういったものになろうかと思えますけども。
0:59:13	ちょっとその辺りでちょっと表現したいなと今考えております。以上です。
0:59:38	規制庁仲です。ちょっと今のご説明ちょっと確認させてください。1例っていうのはトラス室内に近くにある吸込口の開口面積が、
0:59:51	合計っていう認識よろしいですか先ほど上階脳ダクト取り次いでっていうふうなお話もあったんですけど、そこを教えてください。
1:00:01	中国電力の田原です。
1:00:04	先ほど1名と申しましたのを、
1:00:07	ダクト内下階から、治療会、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:13	今排気ダクト、あの中2階とかにある。
1:00:17	そこに合流するバクトの向かうダクトの、流路面積でお示ししております、お話ししておりました。
1:00:27	藤。
1:00:28	吸込口でいくと、もっと、
1:00:32	面積としては大きくなりますけれども、結局吸ってくる量に関連しますので、流路面積でH a t c hの方でいくとそこが流路になりますので、開口面積、
1:00:45	そして比較するとしたら、鳥羽区とのいろいろ面積の方が適切かなと考えて、先ほど、
1:00:52	3平米と1平米でお伝えしていたところです。なので先ほど中尾さんおっしゃられた、理解は良いと思っています、
1:01:04	吸込口の面積を示したものではありません。以上です。
1:01:11	規制庁中座了解しました。今スエル量っていう考えと流路面積っていうことで、理解します。で、発注の方は開口部移行流量ってことになるので、そこと比べるのは1立米ということで理解しましてありがとうございます。
1:01:31	規制庁の登録ページの真ん中で、負圧達成時間のところ追加してもらったんですけども。
1:01:39	せ
1:01:40	系が250秒で、実推実機においては、1変更によらず、
1:01:48	約5分ってあるんですけど、これは同じ秒の単位で、設計の時は250秒0。
1:01:58	実際の時も、
1:02:01	これ300秒ってことでいいんですかね。
1:02:07	中国電力の田原ですあの企業評価ってのがちょっと設計。
1:02:11	というよりはよその、
1:02:14	R/Bの容積とかファンの能力等から算出したもので、およそこれぐらいで負圧を達成できますよというのを、中央制御室の居住性の評価の中でお示ししている数値をこのそのままちょっと引用しております。
1:02:31	で、あと、ここの確保というか、
1:02:36	変更前後ですね、吸込口の変更前後で
1:02:41	社内で有しております。だからちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:45	小木曾こんぐらいだなっていうところを見て、頭出したのが5分というところなので確かに単位がちょっと違いますけれども、おおよそ、秒で言いますと300秒程度というところは確認した。
1:02:58	ものを本日、資料としてお示したところですか。以上です。
1:03:08	規制庁の義崎です。変更によらずってことは変更前と変更後で測定した。
1:03:16	データがあるということでよろしいですか。
1:03:21	そのデータを記載していただいたかたんですけども。
1:03:29	中国電力の田原です。吸込口の変更前ですねダクトに接続されていた時と、
1:03:38	接続を止めて、
1:03:42	今の形にした状態、双方のたから今のように
1:03:48	そのグラフからですね、おおよそこれぐらいだろうというところで確認したのになりますので、
1:03:56	双方のデータということになります以上です。
1:04:13	あ、規制庁ナガタすみません先ほどのグラフと違ってというのは、実機で計算したデータってということですか。
1:04:28	中国電力の田端です。
1:04:31	パーツ系とかのデータは、保存のデータがありますんでその、
1:04:37	計算したという測定計測結果というか、継続データ。
1:04:43	から
1:04:45	損だと、大体この二つの清掃岩内堆の部分っていうのを述べたものになります。以上です。
1:05:01	規制庁の義崎です計測したデータがあるんだったら、要は、落丁のその位置変更前と変更後で、ちゃんと数字を、実機のデータを、
1:05:14	表示してくれというそういうコメントなんですけども。
1:05:22	伝ってでしょうか。
1:05:31	中国電力の田原です。
1:05:34	7理解しましたので測定データの方
1:05:38	ちょっと、
1:05:41	資料の方にですね追加したいと思います。以上です。
1:05:50	きちっとウエスギです。よろしくお願ひします。
1:06:16	あ、規制庁ナカムラですすいません4ページのところでもともとの設計を変更する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:23	このた理由でトラス室が重大事故当時に、100度以上の高温になった場合に、66度を超える可能性があるというふうに、
1:06:31	なことだと思っんですけど。
1:06:34	これトラス室の工務空気を直接吸引しないように変更することとしたっていうふうを書いてあってで、ハッチから出てきた空気を吸引することになるんですけどそこら辺っていうの要は、
1:06:43	温度が何度になったとか、そういうことって評価されたんですか。
1:06:52	中国電力の長嶋です。そちらちょっとまだ説明できていないですけども健全性の説明書の中で各環境条件で
1:07:01	当然ロジックなり解析をして、温度設定しております、データアナリストからの高温環境とかも考慮した上で原子炉との中を全体として66度。
1:07:13	あるということ、
1:07:14	設定しております。
1:07:16	なので、今の本木手嶋1066度、
1:07:20	以上にはならないということ、
1:07:22	設定を設定しているものになります。以上です。
1:07:31	規制庁ナガタ健全性のほうも別の説明書でやられるということで理解しましたのであれば、ちょっと別の説明書でっていうことを、
1:07:41	書くのか、別に数字説明するうえした上で、66を超えないっていうようなことがちょっとわかるように記載いただければなと思っんですけど、いかがでしょうか。
1:07:57	中部電力の中嶋です。了解いたしました健全性の説明書の。
1:08:02	温度設定については説明する旨、追記検討いたします。以上です。
1:08:09	規制庁仲間ですよろしくお願いします。
1:08:19	規制庁仲間です。それでは
1:08:25	格納施設のごめんについてもこちらからは以上となりますので、次がブローアウトパネルになりますかね。
1:08:39	中国電力の内藤です。はい。次はブローアウトパネル閉止装置になります。以上です。
1:08:46	わかりましたそれではちょっと担当者もまた増えますので15時からにさせていただきますと思います。よろしいでしょうか。
1:09:00	中国電力の内藤です。承知いたしました。
1:09:04	はい。それでちょっと一旦停止させていただきます。
1:09:10	規制庁仲村ですそれで説明の続きをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:16	中部電力の中島です。それではブローアウトパネル閉止装置の関連について説明させていただきます。資料番号⑦と、
1:09:26	⑧⑨⑩。
1:09:28	この四つになりまして、⑦の方の回答整理表。
1:09:32	前回ヒアリングの指摘事項に対して回答させていただきます。
1:09:38	なお本日回答させていただくのは、この後説明させていただきますけれども、主な、
1:09:43	説明事項の中で該当になっていきますブローアウトパネル閉止装置に関するご指摘のみとなります。
1:09:50	それでは、
1:09:51	⑦の資料の5ページ目のNo.35。
1:09:55	ハラですけども。
1:09:57	ご指摘としては、加振試験方法について単純化事業を選定した理由。
1:10:03	を拡充することということで、
1:10:05	回答といたしまして島根2号機は目標とする家族加振レベルが高いことと、加振装置の信連から、
1:10:14	それぞれの3方向の単純化者が実施していることと、
1:10:17	単純化し、
1:10:19	行うことで、大谷30きちんと3方向同時加振の応答に顕著な差がない。
1:10:26	藤記載を受
1:10:28	追記しております。資料でいくとですねと⑩の資料。
1:10:33	まず、ちょっと代表的に、それぞれ複数箇所にとちょっと反映をしているんですけども、ちょっと代表的に資料反映箇所を説明いたしますと、
1:10:42	⑩の資料の100、通して134ページ。
1:10:45	ですが、
1:10:54	こちらで加振試験の結果について
1:10:57	応礼してる部分の一部ですけども、
1:11:00	この中で基本的にその加速度、
1:11:03	加振方向以外のところがそこに空港と軸が明確であること。
1:11:07	あと個別で
1:11:10	ですね島根のそのS _s 地震動に対して入力レベル0.5倍した3方向の同時加振を実施しておりますして蘭田3方向の、
1:11:18	3軸同時の加振試験結果と丹塾。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:21	加振試験結果からも、現状は下がってなかったですという旨を記載しております。
1:11:28	また、同じ⑩の資料の仕入れ、100、
1:11:33	52 ページ。
1:11:34	ですけども。
1:11:39	今後、
1:11:40	下の方のところで追記をさせてもらってますが記載を聞き発注がありますけども (3) 加振試験方法についてということで、
1:11:48	こちらの資料先行 3 社との内容の比較、閉装置についての試験方法だだたりの比較をしてる箇所ですが、
1:11:55	その中で目標とする加振レベルが高いことと、試験装置の加振限界。
1:12:01	によって単純化し、を実施していますという旨の追記をしております。
1:12:08	続いて⑦の社会党整理に戻りまして、ナンバー33。
1:12:13	のご指摘で、 α 倍の倍率。
1:12:16	の説明の注釈を追記することで検討することと。
1:12:20	図 5-1 のシリーズの説明について拡大図を用いて説明を拡充することということで、
1:12:26	資料の、
1:12:30	ちょっと待ってください。
1:12:32	100、⑩の 100 須藤市で 138 ページをお願いします。
1:12:42	こちらでいただいたご指摘としては表 5-1、D 案 0 倍という記載があったんですけどもこちら倍率が説明書ないで、各倍率 X 方向 1 点。
1:12:52	15 倍あたりの記載は、これについて、その注記を角張さん中京ということでご指摘いただきましたので、
1:13:00	注記を追記しております。
1:13:03	またシール方法の概要ということで図 5-1。
1:13:06	の資料、記載がありますけども、これもともと左側の、
1:13:11	比木の写真だけでしたので、
1:13:13	もう少しちょっとパッキン等ケーシング、パッキンの部分を拡大した写真。
1:13:17	を追加しております。
1:13:22	続いて⑦の回答整理表で、
1:13:25	ナンバー34 の、
1:13:28	ご指摘ですが、費用が処理系の定格容量について、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:32	1台当たりの容量であることがわかるように記載を検討することというご指摘でして、
1:13:37	こちらを、
1:13:38	大串様、⑩の、
1:13:40	139 当時 139 ページ。
1:13:44	すごい。
1:13:47	もともとの記載としては費用が処理系の定格より私 4004400 立米パーは、
1:13:53	ということで記載をしておりましたけどもそれがその、
1:13:56	1台当たりなのかどうかということで、
1:13:58	ご指摘いただきまして明確化のために、
1:14:00	単位の中に%台という記載を追記しております。
1:14:06	前回ヒアリングからのS市場ブローアートパネル装置に対するご指摘を、
1:14:11	以上でして、shall適正化箇所についてもこの今回の対応に関連する箇所、
1:14:17	でも、別のページ。
1:14:20	そうです。
1:14:20	多少の被災、誤記修正なりだったりとかを実施しておりますが主なものが動き修正となっておりますので説明を割愛させていただきます。
1:14:33	こちらからの説明は以上です。
1:15:00	規制庁永松続けて会合用のパワポ資料の説明の方をお願いいたします。
1:15:11	中国電力の内藤です。
1:15:14	それでは、資料中⑪NS2 他 067 を用いまして、島根原子力発電所第 2 号機、
1:15:25	工事計画認可申請括弧補正に関わる論点整理についてご説明いたします。
1:15:30	本資料は、審査会合に向けた資料と考えておりまして本資料を補足。
1:15:36	補足する資料としまして⑫。
1:15:40	補足説明の資料をご用意しております。
1:15:44	審査会合に向けた資料としましてはこれらに加えて、補正の対応状況と、説明工程を考えておりますがこれらは3月16日、
1:15:55	ヒアリングにて御説明予定でございます。
1:15:58	それでは⑪の資料のご説明に移らさせていただきます。右肩1ページをお願いいたします。
1:16:07	工事計画認可申請補正に係る論点について、第1018回審査会合。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:15	2021年12月7日にて示した主な説明事項不明。
1:16:20	審査の中で論点として整理されました表中に示しております項目についてご説明いたします。
1:16:28	分類のところですが、一井。
1:16:32	そして詳細設計も食事高で3件。
1:16:37	そのうち2件は審査前回審査会合でコメントいただいたものになります。
1:16:44	新規追加とさせていただきます。
1:16:47	にいたしまして、新たな規制要求、バックフィットへの対応事項として皮膚対策。
1:16:54	3としまして設置変更許可審査時からの設計変更内容で4件上げさせてもらっておりまして、
1:17:02	そのうち2件は、
1:17:04	前回審査会合以降に設計変更を行ったものになりまして、新規追加とさせていただきます。
1:17:11	なお今後の審査にて論点として抽出されたものについても、審査会合にてご説明。
1:17:17	いたします。
1:17:23	右肩2ページをお願いいたします。
1:17:28	まず詳細設計も食事項としましては、前回審査会合において示した主な説明事項のうち、ナンバー1の中に、ブローアウトパネル閉止装置。
1:17:39	についてご説明いたします。また前回審査会合での指摘事項に関する内容を主な説明事項のNo. 1-13、
1:17:49	非常用ガス処理系吸込口の位置変更による影響及びナンバー1-14、原子炉ウェル排気ラインの閉止及び原子炉ウェル水張ラインにおけるドル円の、
1:18:01	運用による影響としまして、審査会合に対する回答についてご説明いたします。
1:18:08	それではまず、ナンバー1-12のブローアウトパネル閉止装置からご説明いたします。
1:18:16	中国電力の中島です。それでは右肩3ページ目をお願いします。
1:18:22	沼沢プロパネル閉止装置についての説明ということで、ブローアウトパネル閉止装置の概要等要求事項のページにて整理しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:30	ブローアウトパネル閉止装置を重大事故等時に、ブローアウトパネルを開放した後、中央制御室運転員被ばく低減のために、原子炉等の負圧維持が必要となった場合に、
1:18:42	ブローアウトパネル開口部を閉止することを目的に設置します。
1:18:45	島根2号機では、図1に示す通り、原子炉等北側にあるブローアウトパネル2枚に対して、それぞれブローアウトパネル減り装置を設置することとしています。
1:18:56	ブローアウトパネルフリー装置の要求機能としては、視機能とヘッジ後の気密機能の二つでして、どちらも基準地震動SSに対する体制を確保する必要があります。
1:19:07	また、閉止機能については現場で人力による操作も可能とする必要があります。
1:19:12	言い方4ページをお願いします。
1:19:16	ブローアウトパネル閉止装置の詳細設計方針についてまとめています。
1:19:20	プラントパネル閉止装置の開閉部は、ダンプ方式とし、駆動部に対して、ダンパ二つを連結させる2連ダンパと、
1:19:29	駆動部に対してダンパ三つを連結させる3連ダンパーをウォーターパネル開口部1ヶ所に対して、図2のように組み合わせて設置することとしています。
1:19:39	その他の記載も含め、このページ説明している設計方針については、設置許可段階で説明した内容から変更はありません。
1:19:47	右肩5ページをお願いします。
1:19:51	先ほどの設計方針を踏まえたブローアウトパネル閉止装置の詳細設計内容について説明します。
1:19:57	操作については中央制御室からの操作による電動操作、現場でハンドルによる人力操作が可能な設計としており、
1:20:05	気密性については、図4の写真の通り、
1:20:09	ページにダンパの羽根の縁に取りつけられたパッキングをケーシングに押し付けることで保持する設計としています。
1:20:16	また、短波の開閉、開放状態AC状態の、どちらの状態においても、駆動部のホーム議案によるセルフロックによって、
1:20:24	操作時以外は固定される設計としております。
1:20:27	この設計成立性を確認するために、実機大モックアップにて、加振試験等を実施しています。
1:20:34	右肩6ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:38	加振試験の概要についてです。
1:20:40	ウォーターパネル閉止装置の要求機能である、閉式のとき見つけようについて、
1:20:45	島根 2 号請の基準地震動 S s を包絡する模擬地震範囲で加振した後に作動し確認試験及び機密性の試験を実施して、
1:20:55	機能維持確認を実施しております。
1:20:58	各試験結果を次のページから説明いたします。
1:21:02	右肩 7 ページをお願いします。
1:21:05	加振試験後の作動確認試験についてです。
1:21:09	難波の羽を開放した状態、または閉止した状態、それぞれで加振を行った後に、
1:21:15	泰平作動を確認して、動きに異常がないこと。
1:21:19	表 1 に示す通りですが、加振試験前後での作動時間比較においても、現状変化がなく、問題ないことを確認しております。
1:21:29	続いて右肩 8 ページ目をお願いします。
1:21:34	加振試験後の、気密性能試験についてです。
1:21:38	新保仁木ミツエの試験を実施して、原子炉棟の負圧達成を考慮した判定基準を下回る漏洩量であり問題ないことを確認しております。
1:21:48	以上の試験結果から、ブローアウトパネル装置は、基準地震動 S s に対して要求機能を損なわないことを確認しております。
1:21:56	目黒パネル閉止装置についての説明を以上です。
1:22:00	続いて右肩 9 ページをお願いします。
1:22:06	非常な処理系の吸い込み口位置変更による影響について説明いたします。
1:22:11	非常用ガス処理系の吸込口は、従来は原子炉棟空調関係の排気ダクトに接続しておりましたが、
1:22:19	随時にトラス室が 100 度以上の高温となった場合に、原子炉棟の空調関係を通して吸引する流体温度が非常用ガス処理系の設計温度 66 度、
1:22:30	を超過する可能性があったために、
1:22:32	図に示しております通り、原子炉棟空調関係の委託とかつていう話を行っております。
1:22:40	右方 10 ページをお願いします。
1:22:44	非常用が処理系に期待される系統機能への影響についてまとめております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:50	期待している系統機能としては、原子炉建物原子炉棟内の負圧維持機能と、放出放射能低減機能でして、それぞれに対して吸込口の、
1:23:00	今日ご説明していきますけども、原子炉棟の負圧金利の維持、負圧維持機能については、
1:23:06	変更後の吸込口の位置としては原子炉棟内の中2階にあたる位置でして、原子炉等の各フローは図3に示す通り、大物搬入口頭で繋がっていることから、
1:23:18	変更前と変わらず、原子炉棟全体からの空気を吸引することが可能です。
1:23:23	また排風機までの吸い込み配管の長さルートに大きな変更はありませんので、機能に影響を与えないと評価をしております。
1:23:32	放出放射能低減機能については、
1:23:35	吸込口以降のフィルターや愛東町付近からの工場放出に期待しているものですので、
1:23:41	今回の吸込口変更が系統機能に影響を与えることはありません。
1:23:46	なお、吸込口については非常修理系の主配管の一部ですので、
1:23:50	設備分類は評価条件を踏まえて、構造強度に燃えておかないことを共同経産省耐震計算書で示すこととしております。
1:23:59	日浦処理系についての説明は以上です。続いて右肩11ページお願いします。
1:24:07	原子炉ウェル排気ラインの閉止及び水張ラインのドレン弁運用による影響について説明します。
1:24:15	ドライウェル主フランジからの漏えいを想定している水素ガスについて、水素流出経路として、解析上想定していなかった。図の右側に赤丸で示して、
1:24:26	まず、原子力排気ライン。
1:24:28	と、その左下側の、
1:24:31	水張ドレンラインドレン弁の流出。
1:24:36	そこからの流出の可能性を考えられるために、根拠から流出しないよう対策を行うこととしております。
1:24:44	右肩12ページ、お願いします。
1:24:47	図右側。
1:24:49	ホームページの図の右側で示しております。
1:24:52	原子炉ベルφ吉良については、対策①。
1:24:56	として示しているように、原子炉棟空調関係との接続を切り離して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:01	排気ラインの両端を閉止することとします。
1:25:04	なお原子炉ウエル内の吸込口については、溶接構造で編集を行います。
1:25:09	図の左側。
1:25:11	で示します。
1:25:12	原子炉ウエル水張ラインのドレン弁については、対策②として記載しているように、
1:25:18	通常運転時の運用から、常時、
1:25:21	通常運転時の運用について常時開から常時閉。
1:25:25	変更することとします。
1:25:28	右方 13 ページお願いします。
1:25:31	それぞれの対策による影響について説明します。下からファイルについては、
1:25:37	通常運転中のドライウエル主フランジからの万一のリークを考慮して、
1:25:42	原子炉をいろんな様負圧に保つ目的で設置したものを設置していたものですが、
1:25:47	今回の対策で、当該排気ラインを閉止しても、
1:25:50	プライベートブランドからの漏えいしたガスは、
1:25:53	原子炉ウエルシールドプラグの隙間から原子炉棟 4 階に配置されて、
1:25:57	原子炉棟空調関係により処理されること。
1:26:01	また閉止しても空調バランスに影響ないことを確認しています。
1:26:05	水張のドレンライン、失礼しました水張ラインのドレン弁については、
1:26:10	T1 燃料プールの冷却ラインと、電力プール冷却ラインの隔離弁がシートパスをした場合でも、
1:26:17	原子炉ウエル漏えい水が流入しないように、開運用としておりましたが、今回の対策で運用とした場合でも、定期的にドレン弁をあけることにより、
1:26:27	A N S I 等ドレン弁廃止等への排出が可能であることから、影響がないと確認をしております。
1:26:35	詳細設計の申し送り事項の説明は以上となります。
1:26:42	中国電力のミュキです。
1:26:44	続いて、
1:26:46	新たな要求バックフィットへの対応事項を説明します。右肩 14 ページは、規制庁ヨシザキですバックフィットのやつはちょっと今回、
1:26:54	時間の関係でちょっとできなくなるので、今回は割愛で、
1:27:02	次の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:03	3-2-A3 水素濃度のところパワーポイント 26 ページから説明をお願いします。
1:27:14	中国電力の内藤です。
1:27:17	26 ページの前に、少し 23 ページのところもご説明したいと思います。
1:27:25	20 住み方 23 ページをお願いいたします。ちょっと 1 点確認ですが
1:27:29	このうち、3、ナンバー3-1 も今回審査会合にはかからないという認識でよろしいでしょうか。以上です。規制庁の井関ではい。その通りです。
1:27:41	承知いたしました。中国電力の内藤です。承知いたしました。規制庁の井関、かからないというのは結果だけ残しておいて、主な説明にはならないというそういう意味です。
1:27:55	中国電力の内藤です。補足ありがとうございます承知いたしました。
1:28:00	それでは、20、右肩 23 ページについて説明いたします。
1:28:06	3 の設置変更許可審査時からの設計変更内容についてご説明いたします。前回審査会合において示した主な説明事項のうち、
1:28:18	No.3-2。
1:28:20	格納容器酸素濃度及び下部抜き水素濃度計測範囲の変更についてご説明いたします。また、前回審査会合以降に設計変更を行った内容を主な説明事項 No. 3-3。
1:28:34	第 4 保管エリアの形状変更、及び No.3-4、放射性物質吸着剤の設置支援。
1:28:42	設置箇所の変更。
1:28:44	として今後、関連する工認図書等にて説明いたします。
1:28:51	それでは、
1:28:54	右肩 26 ページをお願いいたします。
1:29:02	3 の 2、格納容器酸素濃度及び水素濃度計測範囲の変更になります。
1:29:08	概要としましては、格納容器ベント判断や、可燃限界付近の適切な監視能力を確保するため、表 1 に示しております通り、
1:29:19	格納容器酸素濃度 B 系のナローレンジを 0 から 5 ボリューム%から 0 から 154%。
1:29:26	格納容器水素濃度 B 系のなろうれん所 0 かが 5 ボリューム%から 0 から 20 ボリューム%へ変更するものでございます。
1:29:36	格納容器ベント判断基準である酸素濃度 4.4 ボリューム%及び可燃限界である水素濃度 4.054%前後を既存設備の設計を変更せずに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:50	ナローレンジ0から5流ボリュームパーセントで計測する計画でしたが、なおレンジの計測範囲上限付近ではすでに自動でワイドレンジに切り替わっており、
1:30:01	ワイドレンジで計測する可能性を排除できないことが判明しております。図1を、
1:30:07	お願いいたします。
1:30:11	実際の計測におきましては、計測範囲に示すなるレンジ上限値まで計測可能なわけではなく、上限。
1:30:19	到達前にワイドレンジ切り替えるためのマージン感覚ですね、感覚。
1:30:24	マージン及びレンジ切り換えのチャタリング防止のための間隔マージンの存在により、アイドル切り換え、
1:30:35	設定値及びなる切換設定値はナロー堅持の上限値より低い値となります。
1:30:41	表1の変更前の切換設定値に示す通り、酸素濃度と水素濃度のナロー切換設定値はそれぞれ3.2504%と。
1:30:52	3.050%となり、この切換設定値以上の、
1:30:57	計測はワイドレンジ監視となる場合がございます。
1:31:01	なお変更後の切り換え設定一番現在設計検討中となりますが、なるべく広い範囲で興産の小さいなるレンジによる計測を可能とするため、
1:31:13	定期設計可能な変更後の7年上限に近い値に設計設定することを計画しております。
1:31:22	右肩に17ページをお願いいたします。
1:31:27	2ポツで格納容器酸素濃度。
1:31:32	につきましては表2に示します通り、
1:31:35	定期郷さんが大きくなっておりますが、
1:31:40	各運転状態における関西への影響について表3に示す通り確認しております。
1:31:47	表3の一番右になりますが、重大事故等時におきましては、酸素濃度の可燃領域を50%への、
1:31:58	到達もうなろうレンジ0から10ボリュームパーセントで監視し、格納容器ベントの準備、
1:32:05	及び実施判断を行うこととなります。
1:32:08	格納容器ベントの実施判断基準4.4ボリューム%には計器誤差としてプラスマイナス0.550%を考慮しております、
1:32:17	変更後のドライ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:19	の多さ、プラスマイナス 0.2552%でも監視性及び判断に影響はないと考えております。
1:32:28	なお、格納容器ベント停止に酸素濃度が可燃領域未満に低下したことを監視する上でも問題ないと考えております。
1:32:36	その他の状態においても問題ないことを確認しております。
1:32:41	2方 28 ページをお願いいたします。
1:32:48	格納容器水素濃度につきましても、酸素濃度同様に、各運転状態における完成に問題がないこと。
1:32:57	を確認しております。
1:33:00	説明は割愛いたします。
1:33:04	続きまして、
1:33:06	右肩 29 ページをお願いいたします。
1:33:11	3-3、第 4 保管エリアの形状変更についてご説明させていただきます。
1:33:17	第 4 保管エリアにつきましては、埋戻動非常に配置する予備の、及び予備及び自主対策設備が、可搬型重大事故等対処設備に近接していたことから、
1:33:30	離隔距離のさらなる誘導確保を目的に、
1:33:33	第 4 保管エリアの拡張を行い、
1:33:36	まして当該拡張部に一部の予備及び自主対策設備を配置することといたしました。
1:33:43	なお、拡張部は、埋戻しになりますが、ファン型重大事故等対処設備、アクセスルート、岩盤部に対して十分な離隔距離がの確保が可能であることから、
1:33:55	重大事故等の対応の成立作業成立性に影響はないと考えております。
1:34:02	図 1 に変更前後の可搬型設備の配置図を示しております。
1:34:08	なお、2月8日の他のアクセスのヒアリングに、
1:34:13	提示しました資料では、車両ごとに細かく色分けして表も記載しておりましたが、
1:34:19	拡張部である埋戻しとに配置するのが、
1:34:22	可搬型 S A 設備以外であることが一目でわかるように凡例を可搬型 S A 設備。
1:34:29	可搬型 S A 設備が以下の 2 種類に変更させていただいております。
1:34:38	今後の説明予定としましては、沈下等に対する営業につきましても、保管アクセスの、
1:34:45	補足説明資料にて 5 月以降に説明予定でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:51	続きまして、右肩 30 ページをお願いいたします。
1:34:57	スパンの 4、
1:34:58	放射性物質吸着剤の設置箇所の変更をご説明させていただきます。
1:35:05	本件は、昨日の島の支持性能が設計地下水のヒアリングにおいてご説明しておりますが地下水排水設備の設計変更に伴いまして、
1:35:17	放射性物質拡散抑制対策が変更となるものでございます。
1:35:22	具体的には、地下水位低下設備においてくみ上げた地下水を確実に海に排水するために、排水経路を変更すること。
1:35:32	並びに、図 1 に示します示しておりますが変更前の、
1:35:37	雨水排水集水ます、2 ヶ所、ナンバー3 排水炉 2 号機放水。
1:35:45	そう。ミナミ。
1:35:46	の下流側に雨水排水の集水枡を新設することから、変更前の雨水排水炉集水枡の 2 ヶ所を、変更後の 1 ヶ所に集約させることといたします。
1:35:59	また、放射性物質吸着剤の設置変更箇所に伴い、設置要領現象及び、
1:36:06	再設置作業時間短縮となりますことから、放射性物質の吸着剤の、
1:36:13	設置管理をもって実施する。
1:36:16	大型送水ポンプ車及び
1:36:18	放水槽による大気への放射性物質の拡散抑制の放水開始作業に影響はございません。
1:36:26	なお、昨日の地盤の申請の設計地下水のヒアリングにおいて、排水経路の見直しに関するコメントがあったため、
1:36:35	検討状況によりましては、現在お示ししている排水経路が変更となる可能性がございますが、最終排水末となる新設の雨水排水。
1:36:46	ろう集水枡の変更となることはないと考えております。
1:36:50	今後の予定としましては、設置
1:36:53	設定根拠に関する説明書別添に係る補足説明資料にて排水経路の再検討結果を踏まえまして 7 月以降に御説明予定でございます。
1:37:06	右肩 31 ページ目。
1:37:08	今、前回会合でご説明した。
1:37:12	主な説明事項。
1:37:15	リストを示す参考として示しております。
1:37:19	続きまして、
1:37:21	⑫。
1:37:25	の、補足説明資料。
1:37:27	についてご説明いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:32	⑫の資料の2ページ目のところに目次を示しております。
1:37:37	これらは基本的に、
1:37:41	今までの審査資料の補足説明資料の抜粋になりますので、
1:37:46	内容の説明を割愛させていただきますが構成についてご説明させていただきます。
1:37:52	まず、ブローアウトパネル閉止装置関連につきまして3ページから示しております。
1:37:58	あと72ページからは非常用ガス処理系吸込口の位置変更について。
1:38:05	78ページからは、原子炉ウェル排気ラインの閉止及び原子炉ウェル水張ラインにおけるドレン弁の閉運用について。
1:38:14	82ページから一対策を記載しましたがここは割愛いたします。218ページから、原子炉格納容器内、
1:38:25	農水酸素濃度及び水素濃度の監視、
1:38:28	240ページから格納原子炉格納容器下部水位監視について。
1:38:34	を示しておりますここまでが抜粋補正、今までの審査資料の抜粋になります。
1:38:40	最後に147ページのところに参考としまして設置変更許可申請における審査資料からの変更内容について、示しております。247ページをお願いいたします。
1:39:05	247ページですが、
1:39:09	設置変更許可申請、申請書の、
1:39:14	内容変更に関するものにつきましては先ほどの⑪の資料で整理させていただいて、3としてA3シリーズとして示しておりますが、
1:39:24	この3項につきましては、設置変更許可申請における審査資料。
1:39:30	まとめ資料。
1:39:32	の、
1:39:33	記載の変更としましてせ。
1:39:36	記載の内容につきまして、設計変更を行ったものを表1に示しております。
1:39:43	一つ目。
1:39:45	表1の一つ目が計測装置の構成。
1:39:49	で、変更内容概略構成の変更になります。
1:39:53	原子炉圧力減少推移について概略構成の変更になります。設置許可の審査資料の記載箇所は、まとめ資料の58条になります。
1:40:03	二つ目が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:05	放射線管理用計測装置の構成になりますこれも同様に概略構成図の変更になります。
1:40:13	三つ目が、
1:40:15	通路、連絡通路、地上部の構造についてですが変更内容はボックスカルバート構造からH行海の構造に変更しております。
1:40:28	設置許可での審査資料はまとめ資料の補足は保管アクセス別紙 38 になります。
1:40:37	四つ目が浸水範囲でございます。変更内容が、漏えい検知高さを変更したことに伴い、循環水系から水量が低減したこと等を踏まえまして
1:40:50	タービン建物の復水器を設置するエリアの浸水範囲を変更しております。
1:40:58	248 ページから、先ほどの表 1 の備考欄に、と対応させておりますが、別紙をつけております。
1:41:07	248 ページ。
1:41:10	ならば概略構成図の変更。
1:41:14	続きまして、252 ページまでが概略恒設の変更を示したものでございます。
1:41:21	253 ページが別紙 3 になりまして、ここで
1:41:27	ボックス、
1:41:28	ボックスカルバート構造から 1 個海に変えているというところを示し、図で示しております。
1:41:37	最後、254 ページ、別紙 4 になりますが、
1:41:42	必須範囲を示してございまして、青色、
1:41:49	のハッチングで溢水範囲を浸水範囲を示しておりますが、申請、設置変更許可申請では浸水範囲で復水ポンプ数が含まれておりましたが、
1:42:00	設工認放水申請では、復水ポンプ室のところの浸水範囲。
1:42:07	の青色ハッチングが消えているというところになります。
1:42:11	説明は以上になります。
1:42:17	はい、規制庁の井関で説明ありがとうございました。まずパワーポイントのブローアウトパネルの方から、
1:42:24	行きたいんですけども、そのあとちょっと補足のほうでちょっと確認するのがなっておりますので、
1:42:29	とりあえずブローアウトパネルの方から、確認したいと思います。
1:42:34	パワーポイントの 3 ページのところなんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:38	ちょっとこれ何だ、ブローアウトパネルと、この閉止装置の位置関係がちょっとわかりづらくてですね、例えばこの図1の、多分赤と緑のところだと思うんですけど。
1:42:50	ここ少し拡大していただいでですねその側面図をちょっと示していただきたいんですけども可能でしょうか。
1:43:01	中国電力の中嶋です。了解いたしました下の断面図の形で、
1:43:07	拡大し、どちらもかもしれないですけども、もう少し拡大。
1:43:11	指定位置関係がわかるように検討いたします。以上です。
1:43:15	規制庁の義崎ですんよ。要するにそのブローアウトパネルと閉止装置の位置関係がちょっと高齢だとわかりづらくてですね、下のこの、
1:43:25	4ページでもこれは非措置。
1:43:28	西川着目してないので、少しブローアウトパネル側との関係がわかるような図を、拡大図を補足して欲しいというのが先ほどのコメントです。で、
1:43:39	4ページなんですけども、ちょっとこの、
1:43:42	図にもう少し何か、
1:43:44	わかりづらいなと思っていて、何か補足説明資料ついてるほうがわかりやすいようなイメージなんですけどこれ、何でこれ色が違うのかな。
1:43:52	これ取付架台の色が少し違うのはなぜですかね。補足説明資料の方が、
1:43:57	タカギやすい図があったと思うんですけど。
1:44:23	阿保所長の6ページの、
1:44:26	ところの、新宮なんですけど同じように、
1:44:28	こっちの方がわかりやすいんじゃないかなと思って。
1:44:36	どうでしょうか。
1:44:40	中部電力の柏です。了解いたしましょう。ちょっと図に追加ポイント上の図についても、今ご指摘いただきました図。
1:44:47	の方に変更検討いたします。以上です。
1:44:52	規制庁の吉崎です。よろしく願いますそれと、
1:44:55	同じ4ページでちょっと確認だけなんですけどもこれ、
1:45:00	ブローアウトパネル閉止装置は通常運転、通常運転中はこれ係の状態で会議しているという理解でよろしいですか。
1:45:11	中部電力の中嶋です。一方認識の通りです所運転時、
1:45:16	は、通常運転についてはブローアウトパネル、当社で言うとダンパーの羽根ですけども、常時介護状態です。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:24	規制庁入籍通常大気中はどういう状態なのかというのを少しわかるようにしていただきたいというのと、
1:45:31	その下のポツで、中央制御室から容易に、
1:45:36	閉止操作ができるというふうになってるんですけど、これは、
1:45:39	例えば2電ダンパ3連ダンパーが一つのスイッチで、
1:45:45	連動して閉まる。
1:45:47	でしょうか。
1:45:50	中部電力の中嶋です。はい。一応、うちのこの今閉措置についてですけども、中央制御室から操作することでブロアパネルに事例2ヶ所ありますけども、それぞれちょっとすいません明確ではないんですが、間違いないのは、
1:46:04	現状今図1、失礼しました図2にあるはい。
1:46:08	未練ダンパ3年ダンパーについては、一色が同時にします。
1:46:12	というイメージ。
1:46:13	コピー使用になってます。以上です。
1:46:17	規制庁の遊佐です。その辺も少しわかるようにして、していただきたいと思えます。
1:46:27	ちょうど電力の中嶋です。了解いたしました。現状今ご指摘いただいている4右肩4ページについては、設計方針の記載でもありますので、次のページの、
1:46:37	コピーカード5ページについて詳細設計内容。
1:46:40	を示しているページがありますので、適切な方、今のご指摘いただいた内容を踏まえて記載適正化しようと思えます。以上です。
1:46:50	規制庁の伊勢記載場所は
1:46:53	こうじゃなくてもどこか。
1:46:56	記載していただければ、それはお任せしますので、よろしくお願ひしますそれと5ページの方いきまして、ちょっとセルフロック。
1:47:05	要するに会計状態を、
1:47:09	何だ、パッキングケーシングを気付その状態で駆動部のウォームギアのセルフロックによりへいへい保持するということで、このセルフロックってのはこの図4で言うところになるんですかね。
1:47:22	すぐ入れるのか、この図の4にあります。
1:47:27	中部電力の中嶋です。現状、図の4、では確認ができなくてですね駆動部の中に取り付けられてるものでして、構造上そういう構造ですっていうことで補足説明しよう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:41	ページもいたしました資料番号⑫。
1:47:45	通しページ 66 ページ。
1:47:49	今のそのセルフロックについて解説をしている。
1:47:53	課長。
1:47:54	解説処方しておりますて図の 6-2、大麦によるセルフロックの概要という ことで、
1:48:00	説明をさせていただいてる。
1:48:03	ものになっています。現状すいませんそのパワーポイント資料中では、 ここまでの詳細な表現をしております。以上です。
1:48:11	規制庁の義崎です。今のセルフロックは、
1:48:17	この 4 図では、
1:48:19	見えない。
1:48:21	場所だけ明確にして欲しいという、そういう趣旨で質問してるんですけ ど。
1:48:30	中部電力の中島です。Power Point 上の図の 4 で示す。
1:48:35	そうなると今の現状の
1:48:38	浜崎野中ですけども、駆動部の部分。
1:48:41	に含まれるというような、
1:48:44	記載になるかと思う。
1:48:46	考えておりますが、それで問題ないでしょうか。
1:48:53	規制庁の井関さんそういう④のところに、これがセルフろ。
1:48:59	駆動部のウォームギアの政府ロックって書いてあるんで、
1:49:02	この図の中の駆動部がそれに該当するということであれば、少しそこを 補足していただきたいと。上で説明があるんでそれがどこかなっていう ことなんで、それを明確にしていきたいというのが、こちらからの 依頼ですけども。
1:49:21	中部電力なんかします。了解いたしました記載検討いたします。
1:49:33	あと規制庁の吉崎里 7 ページなんですけど。
1:49:36	こっから試験結果ってあって、ちょっといきなり回診試験、電動の作動 試験なんすけど。
1:49:44	ちょっと最初にやった試験の一覧を示していただいて、その中の高校東 高校を示しているというふうに、全体を最初に示した後に、こういった ものを、
1:49:56	やっているという、具体的な収集となる気密試験と、
1:50:03	開閉試験ですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:04	うそそういう形にさせていただきたいんですけども可能でしょうか。
1:50:12	中部電力の中嶋です。右肩 6 ページの中で、3 ポツの (1) として、試験方法。
1:50:20	加振試験で加振後の作動確認試験気密への試験で、
1:50:25	こういうことを、試験法については、
1:50:27	それぞれ説明をして、
1:50:29	いう。
1:50:30	ですけども、
1:50:31	その下の試験概要と内容は説明をし記載をしておりますが、ここ、
1:50:37	では、
1:50:38	なくてという形ですいませんちょっとご指摘の移動一緒かなってますので、申し訳ありません。規制庁の義崎です何か補足説明資料見るとすごい結構たくさんやってて、ここだけ抜き出しているのはなぜかなと思って。
1:50:51	ここ高齢だけしかやってないんだったらこれでいいんですけど。
1:50:56	補足ではもっといろいろやってませんでしたか。
1:51:02	中部電力の中嶋です。補足説明資料の中では実際のその試験、実施した内容を、案を記載して、
1:51:10	おりましたパワーポイントの方では代表的な、最も、
1:51:14	保守的な記録といいますか、というものについてを記載して行って、
1:51:18	おりますのでちょっとすべて補足説明する内容を落とし込むとなるとパワーポイントがおさまりきらないのでということを考えて、代表の結果を記載しておりますセンコーも同様のパワーポイントの中身はそういうふうに、
1:51:31	作成されていましてのでそこを例に、
1:51:34	作成を現状はしております。以上です。
1:51:48	規制庁の遊佐北野。
1:51:51	この加振試験と作動試験の結果の一覧表ってあるんですかね。
1:51:57	結果だけ示すことは可能でしょうか。
1:52:16	中部電力のナカシマで 1000 ちょっとご指摘の、伊東まで理解しかねてるんですけども例えば補足説明資料、
1:52:25	という。
1:52:27	行く等、
1:52:28	59 ページ、当初の 59 ページ。
1:52:33	に示して、表の方の 2。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:39	他のような、5-2 という略現状、時間もしますんで5-3。
1:52:45	他の内容。
1:52:47	多く示すようにということでしょうか。
1:52:51	里君知見については投資の、
1:52:53	57 ページですか。
1:52:56	丸の 12 の資料ですけど失礼します。
1:52:59	イメージとしてはこんな感じなんですけど。
1:53:03	5-2 と気密試験がありましたよね。一覧表みたいの。
1:53:10	中部電力の岡嶋です。少し前の 57 当時の 57 ページの表の 5-1 でお示ししております。
1:53:29	規制庁の井関です全部を何だ、丸ごと移せというわけじゃなくてイントロだけ。
1:53:35	やってるところの試験結果を最初を書いて、そのうちのここを出してるというふうなイメージで、質問してるんですけども。
1:53:45	変わったでしょうか。
1:54:18	城電力の中島です。了解いたしまして記載を工夫して試験、全体としてどういうことをやっていて、現状を記載してるのが、その内容の結果であるということ、わかるような記載を検討いたします。以上です。
1:54:33	CTOの井関です。例えば、7 ページのパワーポイントの 7 ページの、
1:54:40	このデータってのはどこ。
1:54:42	補足で言うとどこなんですかね。
1:54:52	極力ナカシマですとパワーポイント 7 ページは補足説明資料で言いますと、⑫の、
1:54:59	57 ページ。
1:55:00	六ヶ所から、
1:55:02	最もき保守的な、一番最大漏えいしている結果、
1:55:06	を抜粋して記載しているものでして、記載の書き方について、
1:55:11	は現状このパワーポイントの補足説明資料と、
1:55:14	してつけている補足説明資料ではなくてですね申し訳ありません。
1:55:20	本体資料の添付資料の方で、同じように代表として一番最も厳しい値を、
1:55:26	記載しておりますので、そちらの値を、
1:55:30	そちらの表現方法を、
1:55:32	転記している形になっております。
1:55:35	以上です。ちなみに今回提出の資料でいくと⑧の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:39	資料の、
1:55:40	通しページ 35 ページの表の 7。
1:55:44	を基に記載をしております。以上です。
1:55:50	規制庁の義崎ですイメージしてるのは板谷田内の代表を出しているということで、この 7 ページ代表をしているという先ほど説明あったんで、そうそうであればやっぱり一覧出してもらって、
1:56:02	これは大体表にしているということにし、
1:56:06	して欲しいと思います。
1:56:12	どういう電力ナカシマです了解いたしました。再検討いたします。以上です。
1:56:30	規制庁の井関です。ブローアウトパネルの補足説明資料の方で、
1:56:35	何点か確認なんですけど。
1:56:38	ちょっと飛んですみませんね。
1:56:41	えっとですね補足説明の 139 ページ。
1:56:51	君通清野試験の。
1:56:55	最後結果で S G T S で引いて負圧にできますよってところで、した。最後一番最後のパラで、仮に許容漏えい量。
1:57:07	幾つが、
1:57:08	1 あたりからってあるんですけども、これはその上で、
1:57:12	結果が出ててさらにその、
1:57:14	この仮にっていうの、その意図というか目的は何なんででしょうか。
1:57:22	ちょうど電力の中嶋です今のご指摘いただいているのは⑩の資料の 139 ページっていう理解で、回答いたしますけども、この仮にっていう記載はもともとその判定基準として設定している。
1:57:35	漏洩量についての解説がちょっと乏しいかなと考えましたのでそこについて
1:57:41	判定基準として、余裕を持った値を設定していますということの裏付けのために、記載をしているものになります。以上です。
1:57:49	規制庁の井関です。
1:57:51	判定基準がこの辺りなんでそうであってもですね、少し何か補足していただければと思います。
1:58:02	中国電力の中嶋です了解しました現状のこの補足説明資料ないで、
1:58:06	記載を拡充すると。
1:58:09	充実させるということで対応させていただきます以上です。
1:58:19	規制庁の義崎ですこれもう少し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:24	最初の方の質問なるかもしれないけども 148 ページ。
1:58:28	補足の 148、⑩の 101 ページ。
1:58:33	ここで 6 の一位の、
1:58:36	方式設置場所のところで、
1:58:38	先行炉等を比較してこうですよってやって、欧州の B だ分 E P R、
1:58:46	で、使用されているダンパをベースとした、
1:58:50	ダンパ方式の、
1:58:52	D O P 装置としてあるんですけど。
1:58:54	これは欧州で使っているこのダンパーをベースとして、島根 2 は何か。
1:59:02	改良というか、
1:59:04	何かアレンジした点はあるんですか。
1:59:10	中部電力の中嶋です。御社で使われている使い方としてはこのダンパ島根の場合は 2 年と 3 年でその駆動部に対して、複数設置をしておりますけども、
1:59:22	T P R の方では、これ単体で、
1:59:25	数ヶ所、格納容器のバウンダリ。
1:59:28	になる箇所に設置しているというところで、なんでベースって言ってますのはその複数設置、駆動部に対して設置するような、
1:59:37	ことにしてますっていうところについてが、
1:59:41	全く同じではないので、現状の記載としています。以上です。
1:59:49	規制庁の井関です欧州で単体で、
1:59:52	ダンパーを使っていて今回はその島令和、組合わセル、
2:00:00	ようにしたと。で、
2:00:02	す。そういう理解でよろしいですか。
2:00:07	中部電力の中嶋です。基本的にはご認識の通りですので、あと少し補足しますけども御社の方は、ブローアウトパネル閉止措置として実施をしているわけでは、
2:00:16	なくて原子炉格納容器のバウンダリ。
2:00:18	そして、衛藤。
2:00:21	T P R の方で事故が起きて継ぎ手等発生したときに、準管理を作るために、
2:00:26	当該ダンパーをバウンダリー P C V のバウンダリーにつけている箇所のこのダンパを逆に開放することで準管理を建設するというような、
2:00:33	使い方しておりますので、使用目的も異なる。
2:00:37	ということにはなりません。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:44	規制庁のヨシザキその辺は何か。
2:00:47	どっか書いてあるんですかね今説明したところ、
2:00:52	中部電力の仲條です。現状は記載はございません。あんの。
2:00:56	追記することで、特に。
2:00:58	問題ございたいと思っておりますので、
2:01:07	規制庁仲間です。収納ダンパの使い方っていうのは
2:01:13	逆ですよ。常時閉で、必要時に会議をするっていう使い方をしてて
2:01:20	で、
2:01:20	嶋の場合は常時開で必要時にと、閉めるって使い方っていう認識よろしいですかね。
2:01:28	中国電力の中嶋ですご認識の通りです。当社はこのを採用してますんでもう格納容器のバウンダリに使われているダンパーということで環境体制等をかなり高いものだということで、採用したという経緯です。以上です。
2:01:42	規制庁仲間です了解しました。そうするとウォームギアの09とかっていうのも全部、開く閉める方向が違うだけで、同じっていう認識でよろしいですか。
2:01:54	中国電力の中嶋です。ご認識の通りです。以上です。
2:02:00	このウォームギアのところは、もともと欧州のやつからついていたと、そういう理解でよろしいですかね。
2:02:12	中部電力の中嶋です。ちょっとすいません、確実ではないんで少し確認をさせていただきますけどもおそらくあの、
2:02:19	欧州の従来の使い方の時から、本議案。
2:02:23	古瀬ブロックの機構だったと認識しております。
2:02:27	以上です。
2:02:33	規制庁の井口です。とりあえず私から以上なんですけども、他、はい。
2:02:41	規制庁の服部です。
2:02:43	プラント側ではなくて耐震側と機器耐震側から少し確認する点がありますのでお願いします。
2:02:51	私がちょっと一旦口火を軽く切ってからウエキの方が少しありますので、
2:02:58	ウエキの方に引き継ぎたいと思いますのでお願いします。
2:03:02	まず
2:03:05	比較資料ですね、比較資料を各確認くださいと30ページです。
2:03:17	これは事実確認になりますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:20	括弧機能維持のところの許容限界、1000分の2という値がありますけれども、
2:03:28	これは先行と、
2:03:31	に比べて同等。
2:03:36	少しマスキングなんでちょっと言いにくいんですけども先行と比べても遜色のない値だというふうに認識していますけれども。
2:03:44	この許容限界をどのように設定しているのか。
2:03:48	少し説明をいただきたいと思います。
2:03:52	私の認識ですと、
2:03:56	原子炉、
2:03:58	原子炉棟躯体の変形に対してパネル本体との接触。
2:04:06	これがないような形で、建物の変形層間変形角を抑えるすなわち変形量を抑える。
2:04:13	そのために必要な限界値として、最大剪断ひずみで規定しているというように理解なんですけれども。
2:04:22	そうすると、一律1000分の2というのは、
2:04:27	少し少しわかりにくいんですけども、この1000分の2の設定根拠を説明していただけますかどうぞ。
2:04:37	中国電力のコウゲです。江藤。浅部の2の設定方法というのはおっしゃられるように大量原子炉建物体力的側の、
2:04:48	一般的に用いられる、今日限界将様に対して2倍の良い同意をしているというような、そういう設定方法を参照しております。ここで一旦、この1000分の2を設定して、紙パネルの支持機能等もありますので、
2:05:06	そういったものが喪失しないようにということで一旦ここで1000分の2で設定させていただいております。で、これ、耐震計算書の方では、最終的に
2:05:17	この浅部のに比嘉宇津ひずんでもパネルがそれに接触しないということで、総合的な機能維持を説明する予定です。これも、
2:05:29	ストーリーとしては仙石さんと合っていると、いうふうに思っています。以上です。
2:05:35	規制庁の服部です。その説明は別途耐震計算書の方であるという説明でしたけどそれよろしいでしょうかどうぞ。
2:05:45	中国電力のコウゲです。はい。浅部にひずんでもパネルと接触しないという評価結果を耐震計算書の方でお示しする予定です。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:55	規制庁の服部ですはいわかりました。少しちょっとか念のための確認なんですけども、その接触しない変形量というのはクリップはバー。
2:06:05	このことを認識すると理解すればよろしいでしょうかどうぞ。
2:06:11	中国電力のコウゲです。1000分の2のひずみを水平方向のひずみを考えておりまして、水平方向には、我々左右の方にはクリップをつけておりませんので、
2:06:22	パネルが、ひずんだ形状の、
2:06:26	開口部と、接触をしないということを確認する予定でございます。以上です。
2:06:35	規制庁の服部ですはいわかりました詳細についてはまた耐震計算書の方でちょっと確認したいと思いますのでお願いします。
2:06:42	それと45ページお願いします。
2:06:48	45ページの表7-9の図を見ると、
2:06:53	レバーブロックが、
2:06:58	館竜巻防護ネットの外側にあるような状況になっていますけれども、これというのは、
2:07:05	原子炉建物の補助等の屋根の上にまで出てそこでレバーブロックで引っ張るという認識でよろしいでしょうかどうぞ。
2:07:17	中国電力のコウゲですご認識の通りです。この先に
2:07:22	図で言う下のグレーの部分ですけど、これが原子炉と附属棟の屋根部分になっておりまして、これのセンターに建物のパラペット応答がございますのでそこでワイヤーの反力をとってそこまでの間にレバーブロックを設置してそこで
2:07:39	牽引するという、予定でございます。以上です。
2:07:44	規制庁の服部です。はいわかりました竜巻防護ネットの外側でレバーで引っ張るっていうのが少し違和感があったので、どういう状況なのかなということで確認しましたけれども。
2:07:54	人力でやる時は外に出られるということで、附属棟の方に、屋根の上に、
2:08:02	出て引っ張るということで理解をしました。
2:08:06	よろしいでしょうかどうぞ。
2:08:10	はい。中国電力のコウゲです。はいこの屋根上に作業員が寄り付き行けるようになっておりますのでこの設置、解放時の設置等も含めてここで作業を行いますご認識の通りでございます以上です。
2:08:24	規制庁の服部です。はい。私からの技術確認は以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:28	引き続きウエキの方が確認する点がありますので植木さん、準備できたらお願いしたいんですが、よろしいでしょうかどうぞ。
2:08:49	規制庁の服部です。ウエキの方が少し反応がないようなので他でリモートで入られてる方で、確認しておきたい点がある方お願いしますどうぞ。
2:09:01	規制庁植木です。
2:09:03	聞こえませんか。
2:09:05	規制庁の発表ですはい。聞こえていますのでお願いしますどうぞ。すいません。さっきちょっと接触は悪かったみたいで済みますが、資料10の補足説明資料。
2:09:16	90ページをお願いします。
2:09:23	今回加振試験の内容を説明されるということで、ちょっと少し構造の確認をしたいんですけど、多分過去に説明されてんと思うんですけど。
2:09:38	この90ページの説明でですね。
2:09:45	まず図の方で、この周り、
2:09:49	保護周りの枠っていうのはこれは、
2:09:52	他の資料のところでは、ハウジングとかって言うやつなんですかね。なんか、図にはなんかとV、
2:10:00	取付ボルトっていうのはあるんですけど、この枠に関しては特に説明がないんですけど。
2:10:07	それでよろしいでしょうか。
2:10:11	同電力の中嶋です。今ご審議いただいているその相当額はケーシングという名前で、
2:10:17	統一して、名称等をつけて、
2:10:20	記載しております。現状の図にはちょっと
2:10:23	そのため、癒しされていますのでちょっと見直しを検討いたします。以上です。わかりました。それで、あとちょっとわかんなかったのは2段落目で花輪ほ協議ブーにてシャフトと。
2:10:37	ぼっと締結された構造。
2:10:40	としておりっていうのが、ちょっとこの図を見ただけでも
2:10:46	補強リブがどれで、ぼっと締結シャフトとどういうふうにV締結されるかとか、ちょっとそこがよくわからないんですけど。
2:10:56	説明をお願いします。
2:10:59	中国電力の中嶋です。記載の中で補強リブと言ってますのが現状の図で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:04	いくと正面図でありますけどもあれの中に宛に3本、
2:11:12	それが入ってると思うんですがこれが補強リングでして、ちょっとですね資料が、⑩でいくと、
2:11:20	写真があるんですけども。
2:11:24	紙で、
2:11:35	少々お待ちください。えっとですね、当時のページで138ページ。
2:11:39	お願いします。
2:11:46	小野さんには写真がありまして、
2:11:49	この写真でちょっと見てもらったのところですけども中央に横に走ってるのがシャフトでして、それに垂直にも三つ入ってるの補強リブ。
2:11:59	ですけども先ほどご指摘いただいた図でその辺りがちょっと図示されていませんので、津波の所見等、
2:12:06	いたします。以上です。
2:12:08	規制庁植木ですはい。わかりました。この90ページのところは、加振試験をするにあたってまずは構造説明する。
2:12:21	ところだと思うんですけど、ちょっと今の記載がちょっと少し抜けてるわからないところがたくさんあるので、きちっとわかるようにして、
2:12:33	いただきたいと思います。それとあと、2年と3ベーン、
2:12:38	眼科っていうのがあるんですけど、これはアクチュエーターの容量とかは2年分も3年分も同じものを使ってるっていうことでしょうか。
2:12:51	中部電力のナカシマで沢野様のものでなっております。以上です。
2:12:56	規制庁が議員はい、わかりました。
2:12:59	結構後102ページ。
2:13:03	お願いします。
2:13:05	ここに写真でですね
2:13:10	これが開状態のものがあるんですけど、今回の加振試験というのは会場へかい。
2:13:18	応じ状態と閉止状態、それぞれについて試験をしてる。
2:13:24	そういうことなんですけど、開状態の場合っていうのはこれは、
2:13:29	何か、固定はされてる。
2:13:32	でしょうか。
2:13:33	中部電力の中嶋です先ほどもちょっと、いや、
2:13:37	やりとりの中でありましたけども、アクチュエーターの中にウォームギアを採用してまして概ねやる気向上させるフロックというロックがかか

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	りますので、それで開状態閉状態どちらの状態でも固定される構造になっております。以上です。
2:13:53	規制庁ウエキはわかりました。すいませんさっき聞き漏らしてました。
2:13:58	それでそうすると、
2:14:01	小浜根井の、
2:14:03	いくつかの箇所に、僕加速度計が取り付けられてると思うんですけど、
2:14:09	経営状態、赤い状態の場合は 90 度、これ。
2:14:14	ずれて加振。
2:14:17	加振結果の方向としては、これ年内とか面外を合わせて、
2:14:26	いるのか試験結果の中で X Y Z つつ、
2:14:30	ていうのが出てくると思うんですけど、都会状態の結果っていうのは方向はどういう方向になってるんでしょうか。
2:14:49	中国電力のクラスです。はい。回転した際にですねはい植木さんおっしゃるように 90 度向きが変わっている可能性もありますので、
2:14:58	はい確認の上できちんと資料でもわかるように整理させていただきます。以上です。
2:15:05	規制庁上決裁わかります。ちょっと、多分
2:15:12	東部、
2:15:13	DOP に関してはその下、年代方向と面外方向。
2:15:18	もう、振動特性とか、応答が重要になってくるので、
2:15:24	閉状態わかるんですけど買い状態が向きがどういう。
2:15:29	うちに対しての結果なのかっていうのが、ちょっとわからないので、わかるようにしていただきたいと思います。
2:15:44	中国電力のクラスです。はい承知いたしました。はい加振時の方向が X Y Z の間は見向きときちんと対応づけてわかるように記載を整理いたします。
2:15:55	規制庁植田ですよろしくお願ひします。あと 134 ページ。
2:16:00	なんですけど、今回
2:16:05	前回の指摘で、
2:16:09	0.5 ばいい。
2:16:12	の加振試験においては 3 号工藤地区でやっていて
2:16:18	いうことなんですけど
2:16:23	すみませんちょっとこれ、
2:16:26	マスクングでちょっと中身が言えない。
2:16:30	もう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:32	この結果ですね、
2:16:37	X Y Zそれぞれの方向と、結果があるんですけど、
2:16:50	水泳の面内方向Y方向だけ少し、他の方向と違うような結果にも、詳細はちょっとマスキング言えないんですけど。
2:17:02	その理由、
2:17:04	いうのを教えていただきたいんですけど。
2:17:13	中国電力のクランプです。はい。面、このダンパーの羽根に対して面内の方向とあと羽根の軸に、
2:17:23	大して沿った方向軸方向では、はいやはり剛性が違いますので基本的にやはり面内方向の方が、同じ剛構造ということで
2:17:33	さほど大きな応答増幅ではないというふうに、はい。確認でき、していただけたと思いますけどとはいえ程度、相対的にはやはり面内方向の方が、応答としては大きくなるのかなと。
2:17:46	思います。はい。ちょっとただし先ほどの話で方向についてはちょっと確認してきっちりはい整理が必要だと思いますので、
2:17:55	はい。
2:17:56	それも含めてまたはい。
2:17:58	資料としては反映さしていただければと思います。以上です。
2:18:03	規制庁技術はお願いします。それ、ちょっと戻って107ページ。
2:18:09	ですね。
2:18:11	(3)で地震発信。
2:18:14	について
2:18:18	今回の試験ではまず、
2:18:21	0.5倍のバーいだけ3方向。
2:18:24	まずしかやってないということで、
2:18:32	後の、先行との比較ですか、152ページの(3)のところ、
2:18:43	単独発信。
2:18:45	どうした理由とか書いてあって、
2:18:49	へえ。
2:18:50	あと107ページを予呼び込む形で試験結果からも行ってますということなんですけど、ちょっと資料としてわかりにくくてですねやはり107ページの自身は加振試験のところに、
2:19:05	ある程度、す。考え方を変えてそ、それ。
2:19:10	述べてですね。それ、それでんどこ、こういうやり方でやってますと。
2:19:19	音っていうかですね。佐藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:27	へえ。
2:19:28	その試験のが先ほどのページですか 134 ページで、
2:19:37	3 方向の試験の結果に関しての上に、考察がある、あるんですけど、ここは事実を
2:19:47	書いてるだけだ。だからどうなのっていう結論が書いてない。結論というのとは多分、
2:19:54	想像するに、
2:19:58	単純化するでもうだから、よかったっていうことだと思んですけど、その結論が書いてないので、ちょっと何か。
2:20:08	107 ページもそうなんですけど、何か事実をただ書いてるだけで、その結果によって何が言いたいのかっていうのはやはり、
2:20:16	こちらの方に、
2:20:20	107 ページとあと結果の方も
2:20:25	書いた方がよりわかりやすくあと 152 ページの方は、これ、本文の結果を受けてもう、先行との比較。
2:20:36	を書いているんで、これはこれで簡単に。
2:20:40	書くということで E と思うんですけど、試験本文の方ではやはり考え方とかですね、埋められた結果に対して、だからどうなのっていうこととか、
2:20:52	そういうことをやはりちゃんと書いたほうがええと、
2:20:56	いいかなと思うんですけどいかがでしょうか。
2:21:02	中国電力のクラムスです。はい、承知いたしました。まず 107 ページのところでは配当者としてこのように考えて試験を計画したというところで記載を拡充。
2:21:12	さしていただければと思います。あとまた結果のところへと 134 ページあたりだったかと思えますけども。はい。そこも今ご指摘の通り、試験の結果を
2:21:23	ある意味そのまま書いているようなところになっておりますので少し、はい、植木さんおっしゃられる通りなので、単純化人でも十分評価できるということを、結論として、はい。きちんとお示しするように、記載を見直したいと思います。以上です。
2:21:39	規制庁池です。お願いします。
2:21:44	試験装置としてですね
2:21:48	学科第 5 に作ってるんですけどその前提としては、実機の
2:21:57	伺いが 5 号だ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:59	ということを、経産省で確認しているということが前提で、それで、こういう試験体、
2:22:07	問題ないということだと思うんですけど、前回もちょっと確認したんですけどその耐震計算書っていうのはまだ確認されてなくて、実機のがいいの構造とかですねあと、
2:22:21	小口解析結果、
2:22:24	として、
2:22:26	合田っていう確認がされた内容とか、ちょっと説明を受けていなくて、そういうふうなこの試験の装置がこれで本いいかっていうのはちょっと、
2:22:37	多分、現状では確認できないと思うんですがその点はいかがでしょう
2:22:49	か。
2:22:49	中国電力のクラムスです。
2:22:51	はい。衛藤。
2:22:52	今はい植木さんのおっしゃられた通りかと思います。当社としてはもともと実機の課題、設計剛構造で設計するという設計方針をとっております
2:23:03	郷構造で設計がなされておりますのでその辺りを今後、ご提出する耐震計算書の中では、萩尾示しをすると、いうように考えておりますが
2:23:15	はい。現時点においてはまだそれをお示しできていないというのはH i g hウエキさんのご指摘の通りでございます。以上です。
2:23:23	規制庁池戸ー
2:23:25	わかりました別途ご説明し、していただくということで、お伝えしました。
2:23:34	あと最後なんですけど加工の方です。十一番の資料で、
2:23:41	6 ページです。試験方法で (1) で単独加振っていうのがあるんですけど、これもやっぱり簡単にですね補足。
2:23:53	説明資料で書いてあることを、ちょっと考え方をやはりここに述べた方がいいのかなというのと等。
2:24:03	等、身近な加震試験概要図にちょっと、寸法をつけていただきたいんですけど。
2:24:13	全体の。
2:24:14	寸法ですね、縦横高さ、
2:24:18	なんですけど、いかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:22	中部電力の中嶋ですご指摘了解いたしました記載検討します。以上です。
2:24:27	規制庁上田です。私からは以上でございます。
2:24:33	規制庁の服部です。それではブローアウトパネルの設計方針について、建物構築側及び機器耐震側から、追加で確認したい点がある方。
2:24:45	三本で入れられてる方おられたらお願いしたいんですが、いかがでしょうか。どうぞ。
2:25:11	すいません規制庁タダウチですけれども、薄葉。まず、菅、すごく単純な
2:25:21	確認なんですけど、パワーポイントだけ見ると、ブローアウトパネルと閉止装置は別なんだよねっていうことで、本当ごめんなさい。名前だけの話がブローアウト閉止装置とは言ってるけれども、あくまでもブローアウト。
2:25:38	のパネルが開口した部分を閉じるダンパー装置ですよってそういう意味合いでいいですよね正確な表現で言うと。
2:25:48	中部電力の中嶋さんのご認識の通りです。パネル自体がまた再度閉止するということはやはり厳しいので全厚も同様ですけども新たに閉止装置を設けている状況です。以上です。はい、わかりました。その認識で今度閉止装置の話をいくんですけれども。
2:26:07	さっき欧州の何か、PCVについてるねなんかダンパーをこれ、持ってきて使ってるんですよっていうのがあるんですが。
2:26:19	そもそもね、もともとの向こうの設計の仕様。
2:26:25	範囲っていうのがあるじゃないですか。その範囲に入っているもんなんですか今回の使用条件っていうのが、圧力条件とか、
2:26:35	どういう電力のナカシマですうちの方で格納容器としてLOCA、EPRとしてのLOCAですけども、LOCA仕様で耐えられるという整理しよう。
2:26:44	のものになっておりましたその条件であれば今回当社の方で原子炉等のバウンダリとして使用する要件、基本的に包絡しているということを確認しております。以上です。
2:26:56	向こうが規制庁正しいですけども、PCVのバウンダリーで使ったことは例えばメガパスカル単位でのね、圧力を、
2:27:07	想定したのかわかんないけど、どの程度の圧力あれなのかなと思うんだけどそれに対して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:12	建屋のねバウンダリーとして使うって話になると何か桁が違うような気がするんですよ。欧州のその設計の要は主要範囲の幅と、
2:27:25	こっちの集配の幅が断然地学ってものすごくちっちゃい。圧力が小さい領域でね、差圧がね、小さい領域で使用するってことに対して、
2:27:35	これ特に問題ないんですかねっていう話なんです。構造でちょっとまた後で確認するんだけど、イメージとしてはバタフライ弁に似たような感じのイメージで捉えればまずいいですか。イメージ。
2:27:49	中部電力の中嶋さんのご認識の通りですよ。バタフライ弁と同様の構造です。以上です。
2:27:54	そうするとねバタフライ弁って普通、それ自体で気密性っていう話ではなくて差圧で、要はバウンダリーを要は圧力で弁体押し付けて、
2:28:08	確保するっていう話になると、圧力小さいと、リークが出るっていうのがバタ弁のね特性になってるかと思うんですよ。そうするとさっき言った想定そもそもの設計の、
2:28:20	圧力範囲っていうのが小さい領域だと、漏えいがしやすくなりますよって話に本来設計ではなってるんじゃないかなと思うんですが、そういったところからすると、
2:28:30	もともとの当初設計に対して今回のこの建屋のねバウンダリーに使用しますっていうときに、それはそのもともとの設計範囲に入っているのか入っていないのかという話で言えばね。
2:28:42	そこはどうかかなっていうところをちょっと疑問に思っているんです。
2:28:47	そこはどうかですか。
2:28:50	中国電力の中嶋です。構造上バタフライ弁と似ているっていうことを申し上げたのも基本的に事故を中心に、羽根が改善するっていうところが同じという点だけでして先ほど言われた低、
2:29:05	圧力が低くなったりすると漏えいするところ。
2:29:08	同様ではなくてですねまた基本的にその直の、
2:29:12	格納容器として使われてた当然かなり高い圧力に耐えられるっていうのは、
2:29:17	おっしゃる通りでして、高い圧力でも気密性を維持できるような構造です。なので今回のような、
2:29:26	and SGTで負圧にする、BC、そこに比べると大地に比べるとかなり低い圧力ですけどもそこだと当然

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:34	漏洩量もかなり低くなっていくということも今回試験でも確認をしております。以上です。
2:29:40	うん。規制庁ただしそうするとねもしかすると、ちょっと仕様入ってるかちょっと正確僕よくわからないんだけど、そこら辺は実際に試験やってみて確認しましたってそういうところで確認をしたってということにしているっていうことでよろしいですか。
2:29:58	中国電力に直しますご認識の通りです。以上です。
2:30:02	はい、わかりました。ちょっと構造的にねちょっともうちょっと詳しいところ聞くんですけど、これバンドルアノン、要はまたウォーター便連帯が多分羽根になってるんだと思うんだけど。
2:30:15	このバウンダリを形成するのは、
2:30:19	羽根の縁がケーシングとの間で何かパッキンが介在することによって気密性を確保するのか、それとも、
2:30:29	ベント何らかのフランジ部があって、そこに押し付けるような形で、バウンダリを形成するのか、これどっちですか。
2:30:43	中部電力の中嶋です。先ほど言われました前者の方でしてパネル縁についてる罰金をフラットなケーシング。
2:30:51	に、押し付けていくことで、Cu性を確保してる口座になっております。以上です。
2:30:56	はい規制庁タダウチそうするとね、ケーシングが外側にあって羽根が内川にあってその間のパッキンが取り囲んでいるってような状態で、気密性を確保するってそういうイメージでよろしいですね。
2:31:12	中部営業部の中嶋です。ご認識の通りです。
2:31:19	そうするとねちょっと別途これ話があるんだけどセルフロック機能っていうのがあって話なんでこれ、これの役割って一体何なんですか。何かもしかしてどっか弁体みたいな感じで、何か閉じる方向に押し付けるんかなと思ったんだけどどうやらそういう構造ではないんで。
2:31:35	このセルフロック機能ってのは一体どういう役割を担ってるんですか。
2:31:41	中部電力の永嶋です西部ロック機能については作動した後、基本的に電動駆動以外では、電動駆動または程度での人力操作以外では動かない。
2:31:51	ように、
2:31:53	その状態を保持する維持する。
2:31:55	固定するための機構になっております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:59	規制庁直で動かねっていうのは、要はその羽根が回転しないように、自己を固定するっていう意味合いでのロック機構ということで認識すればいいですか。
2:32:11	中部電力の中嶋です。ご認識いただいている通りでして工藤が先ほどの補足説明資料の⑩。
2:32:19	ページでいくと、
2:32:23	お待ちください。
2:32:25	149 ページ。
2:32:27	今川様がありますけどもちょっとそちらを見ていただければ、説明をしやすいのです後、
2:32:33	基本的にまず6-2で示してありますけども、
2:32:39	軸も今回の一つで言うとその羽根が取りついている軸の方は、ウォームホイールっていう方の議案に、
2:32:45	の方に入ってる軸になりましてでもこちらから要は回転させるしゃべる羽根側の方に力を加えて回転させようとしても、ウォームギアの間特性、
2:32:56	上回転はしないっていうような構造になっておりますが一方でその伝道もしくは程度でウォーム側を回転させることによって回転することについては特段市場の改善すると。
2:33:08	いう構造になっております。以上です。はい。その機構はわかりました。そうするとね加振試験のところで、
2:33:19	このセーフロックが、要は動作前に解除されるっていうことは確認はしているんですか。
2:33:31	中国電力の中嶋です。
2:33:34	ちょっとご指摘のいいとか、上手くわかってないかもですけども基本的になんで、操作をする時については先ほど⑩の資料で紙を示しましたが、ウォームの方。
2:33:44	その利用を回転させることに、
2:33:47	なりますのでロックをかけるかけないとか、
2:33:50	ということではなくて、大村を回転させることによって回転させ、
2:33:56	旧道側、要は金を取りついている事故の方が回転するという仕様です。以上です。ごめんなさい、僕の方が勘違いしてるかもしれない。そうするとね羽根の方を動かそうと思ってもオガワの登録がでかすぎて回らないよってということだから。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:10	その何かがね、ロックをかけるような機構がついてるわけではないって話ね。そういうことでよろしいですか。
2:34:21	中部電力の中嶋です。ご認識の通りですのでそのPC化の加振試験の地震時においてその羽根の方に悪い回転方向の近くを通っても、その力では回らないような構造になっているということです。以上です。
2:34:35	認識しましてようやく構造がよくわかってきたような感じがするんで、はい。
2:34:39	それと、ちょっとこれ最後になります。さっき、パッキンは羽根の縁についてますって話になるんですけど、気密試験でね、気密性は寸確保されてるってのは測定してやっているんですけども。
2:34:57	パッキン自体の健全性っていうのは何か確認するような話ってのはしてるんですかね。何でかって言うと例えば投じた状態で加振試験やると。
2:35:07	羽根がパッキンをケーシングに押し付けるような動作して潰したりとかそんなような話になるんですけどそこはもう、特に問題ないって話なんですかね。そこら辺までの確認はしてるんですが、これが、
2:35:20	どのくらいの使用品の回数なのかっていうところの議論もあろうかとは思いますが、通常状態健全ですっていう話になると、
2:35:31	そこら辺の確認ってされてるんですかね。
2:35:36	中部電力の中嶋ですもともとのこの先ほども説明ちょっといたしましたけども欧州の方で設計されているダンパーでしてこのパッキンについてもそちらで体制等も確認されてまして先ほどの
2:35:48	ヒーロー的な観点についても、このダンパー自体の開閉動作への100数100回、100万以上は確かし、実施してその対応、
2:35:58	疲労評価に関しても実施はしているますので特段使用に問題ないと考えています。以上です。規制庁忠先生私聞いているのは加振試験後の健全性を聞いているんですけど。
2:36:13	中国電力の中嶋です今回の趣旨説明してる試験でも加振試験後の気密試験の結果ということで
2:36:21	数回家人を実施した上での気密試験を実施しておりますので、それで問題ない結果となっておりますのでそこで体制も確認できていることを考えております。以上です。
2:36:33	規制庁多田です。物自体を確認するのではなくて漏洩量としての確認をしたから、用紙としてるってそういう位置付けでやってやりましたっていうことでよろしいですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:48	中部電力の中嶋で沢のご認識の通り外観についても口ですけどもパッキング異常がないことも確認しておりますので、特段問題がなかったという結果です。以上です。きつい状態でとりあえず外観もチェックしてるっていうことでよろしいですね。
2:37:07	中国電力の中嶋です。ご認識の通りです。はい、わかりました。ありがとうございます以上です。
2:37:15	規制庁の江崎です。私からですねちょっと加震試験に使う。
2:37:20	模擬地震は、の作成。
2:37:23	に関してちょっと確認取りたいんですけど、例えば 105、
2:37:27	106 ページで、
2:37:29	いわゆるあれですねまず茂木自身が、
2:37:34	応答スペクトルってのはまず、
2:37:37	求めた上で、多分目次新藤 105 ページの、これを作成しているんじゃないかなと思うんですけど。
2:37:45	そういうステップよろしいですね。
2:37:51	はい、中国電力のクラマスです。
2:37:54	はい。今 106 ページの方の応答スペクトルをご覧くださいますと、点線で設計用床応答スペクトル位置というのを示しておりますがこちらが、
2:38:04	当社の数隻床応答スペクトルの方針にお示ししている設計用の後藤スペクトルになります。で、それにを上回るこの今回の試験用の模擬地震版のターゲットスペクトルということで、実線のような模擬地震版の応答スペクトルをまず設定いたしまして、
2:38:21	それに基づいて、地震動、
2:38:24	その前のページ 105 ページに、時刻歴関係を示しておりますけどもこういった加振試験用の地震動を作成しているということですのでご認識の通りかと思えます。以上です。はい。
2:38:35	多分、そうしないと地震動はつくれないので、多分おっしゃる通りだと思うんですけど、その時にそのターゲットスペクトルを、この加速度に、時刻歴も 1 回の時に
2:38:47	位相速度がいるじゃないですか。
2:38:51	原理的に言うと、位相速度をどのように決められているのかっていうのをちょっとお聞きしたかったんですよ。それは何でそんなこと聞いているかっていうと、
2:38:59	位相速度を変えると同じスペクトルでもう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:02	その位相速度、位相が変わっちゃうんですよねだから最大ピークがみんなずれてしまう形になるので、
2:39:12	単方向の1方向の加振試験はいいけど、
2:39:17	3方向同時加振に関しては全部応答がピークはずれてしまうから、
2:39:23	多分、1方向加振したものと、結局応答は変わらないっていう。
2:39:27	傾向出ちゃうと思うんですよね。そういったことを考えた時の3億おかしんって、
2:39:33	難しいなと思うんだけど、そうした時にこの磯湖模擬地震動を作る時の先日の位相差を考えたときに、
2:39:42	どうすべきだと。
2:39:43	考えて、
2:39:45	へえ。
2:39:46	理想を決めて、
2:39:48	茂木神を作られてます。
2:39:50	多分あんまり成果はないんだけどさ。
2:39:56	中国電力のクラスです。
2:39:58	1ターゲットスペクトルから加振試験用の模擬地震は地震動を作る際には、現状では各方向それぞれ異なる位相をセットして地震動を作っております。
2:40:11	考え方としましては、これは
2:40:15	今回加振試験のための模擬地震ハトリだけではなくて通常の耐震設計も同じかなというふうに理解をしておりますけども、各方向の、
2:40:25	地震動には位相差がございますので、最大値が同時刻に発生するというのはまれであるということで各方向の組み合わせでそういった考え方でよくSRSS直ですとか組み合わせ係数法といったような組み合わせ。
2:40:38	の概念で設計がなされているというふうに理解をしております。ですので加振試験の際にも、基本的には異なる位相でもって各方向の地震動を作って、
2:40:48	3方向同時加振のときにもそのような地震動の組み合わせで加振試験を行うということで実施をしております。以上です。
2:40:58	規制庁の江崎です。
2:41:00	言いたいことわかるんですけど、例えば一つ方法として一つとしては、例えば、
2:41:04	もともとあるその設計をスペクトル。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:07	ていうのはもともと時刻歴であるわけなんで解析結果なんで、そこから位相速度を取ってきて、その磯それぞれの成分それぞれ、
2:41:18	実応答の加速度は形から、位相速度を使ってその一つをずっと使って、
2:41:24	見ても、基本的にあまり変わらないと考えていいんですかね位相は。
2:41:29	だから、何に対してという話だと今これ茂木の話、模擬地震動を作っていて、基本的には、
2:41:35	衛藤。
2:41:37	機能維持確認用加速度を出そうとしてるだけなんだけど、その辺の考え方っていうのは今言われたような形では、一般論としてはあるんだけど、実際に
2:41:48	やろうとしてるのは S_s に対しての体制を考えているわけだから、 S_s っていうのは県の特性を、
2:41:55	から考えた時には、すと、それでも特に問題はないと。
2:42:00	というような状態なんでしょうか。
2:42:06	中国電力のクラムスです。
2:42:08	はい。ご回答としてはまず1点目といたしましては、
2:42:12	106 ページに設計の方で、床応答スペクトル位置もお示しをしておりますけども、通常機器配管の設計に用います設計スペクトルは
2:42:25	島根で申し上げますと基準地震動 S_s は後は、地震動がございましてけどもそれらの後は、包絡条件でのスペクトルを設定して、設計に、スペクトルモーダル解析等に用いると。
2:42:38	というようなことを実施しております。
2:42:41	従いまして今江崎さんおっしゃられたように実際の S_s の移送も取ってきてというような範囲考え方もございましてけどちょっとここでは後は包絡のスペクトルを基に作っていると。
2:42:52	というようなところもあって必ずしも S_s 。
2:42:55	見てということではなくてそれぞれ個々にランダム内装で設定してということで地震動を作っているというのが今の実施内容となっております。
2:43:06	またこういった加振試験で確認するということに関してはですね、
2:43:13	結局のところす。
2:43:14	ガツンと、大きな最大加速度がどれだけかかってということと後地震動としての継続時間といいますか、ある程度大きな振幅がどの程度繰り返されるかといったようなところが試験体にとっての厳しさということになるかと思しますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:28	そういう意味ではあまり位相によるところではないかなというふうに理解をしております。こういったような試験方法を行っております。
2:43:36	以上です。
2:43:37	規制庁、青木、規制庁の江崎です基本的にこの確認を加速度を決める上で、特に3次元化を33方向で書く。
2:43:48	っていうのは、多分参考程度にしかすぎないのかなとっていて多分、
2:43:53	それをそれぞれNSEW。
2:43:56	UDアップダウンですよね。それぞれやっているもの。
2:44:00	もう、
2:44:01	その値そのものが基本的には
2:44:04	いわゆる今日限界的な機能維持確認を活動になりえて、実際、解析した。
2:44:11	次の設計の応答ですよね。太田側の方を、車両側の方に関してはその3次元、
2:44:19	的な話があるんであればそれは、そういう話になるんでしょうけども。
2:44:23	そういったことと言って多分確認されるっていうことで特には
2:44:27	この3方向のものが、基本的にはあくまでも確認、この、
2:44:34	どの程度かっていう程度確認する程度のものであれば特に私の方としては、今の答えで結構かなと思います。そういう認識でよろしいですよ。
2:44:49	中国電力のクランプです。はい。ご認識いただいている通りかと思えます。はい。今回はあくまで3方向。
2:44:57	それぞれの方向で、加振を行いまして、す。最大加速度を基に、機能確認済加速度を設定しますと。それに対して、はい。実際の
2:45:10	応答計算の方では、算出しました発生加速度と比較して評価するという体系をとっておりますので。はい。そういった先ほどお話いただいたようなご理解の通りかと思えます。以上です。
2:45:28	規制庁のハットリです他に耐震側から何か確認する点あればお願いします。ブローアウトパネルについてお願いします。どうぞ。
2:45:39	よろしいですかね。
2:45:41	そうしましたらブラウ、
2:45:42	ブローアウトパネルの設計方針については耐震側からの確認事項は以上としたいと思いますが、
2:45:56	規制庁の服部です。少し念のために念押しだけちょっと確認さしてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:02	介護資料について確認させてください。
2:46:05	確認というかまあ、そうですねっていうことの再認識だけですけれども。
2:46:10	パワーポイント資料の29ページをお願いします。
2:46:15	これも前回言ったんですけれども、今回拡張する部分というのは、
2:46:21	ほとんどが営企ジョーカーによる沈下の可能性がある範囲になりますので、
2:46:27	ここを拡張することによる悪影響については、今後詳細にきちんと説明していただくということで先ほど説明があったんですけれども、それでよろしいですねという念のための確認ですがいかがですかどうぞ。
2:46:42	はい。中部の藤本です。こちらの拡張部分の部分なりますがその影響につきましてはバーコード29ページの2発目の通り沈下等に対する影響評価としまして、
2:46:54	5月以降に保管アクセスの補足説明資料において説明をさせていただきます。以上です。
2:47:01	規制庁の服部ですわかりましたそれともう1点なんですけれども、パワーポイント以外の介護資料の253ページについて
2:47:10	連絡通路をボックス型から門型に変えるという点もありますけれども、
2:47:17	これについては、想定してる状況が、地震が起こって鉄塔が倒れて、
2:47:25	その各線が、アクセスルートの上に通る、落ちると、人が通れなくなるということで、
2:47:33	このボックスにつ通路については耐震性が求められると思いますので、
2:47:40	ボックスに比べて門型にすると。
2:47:44	基本的には構造は弱くなってるということですので、これについてもきちんと耐震性を確保できてるということを確認、詳細に説明していただくということで、
2:47:56	理解してるんですけれどもそれでよろしいですかどうぞ。
2:48:01	はい。中部電力の藤本です。この連絡通路の構造変更ような形につきましても耐震性を有する古藤耐震計算書の方で説明をさせていただく予定です。はい。以上です。
2:48:14	規制庁の服部です念のために確認だけしました。
2:48:20	介護資料についてリモートで参加されてる方で何か確認しておきたいことがある方おられましたらお願いしますどうぞ。
2:48:28	ミウラです聞こえてますか。
2:48:31	規制庁の服部です。聞こえていますどうぞ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:34	すいませんちょっとブロードパネルなんですけど、1点確認したいんですけど資料10の72ページなんですけど、
2:48:47	ここで、
2:48:49	試験結果が出ていて、上の部分に、グラフ、これマスキング対象なんですけど、上の部分は急激に荷重が低下してるに対して、下の部分に関してははなだらかに荷重が低下してるというのは、
2:49:05	これは底部の摩擦抗力が影響してるという理解をしたらよろしいですか。
2:49:13	中国電力のコウゲです。はい。おっしゃる通りで、島根の場合は、上部等を、
2:49:21	すいません、マスキングの確認をします。
2:49:33	中国電力のコウゲです。少しクリップコストについてはマスキング対象。
2:49:38	になっておりますが、
2:49:41	マスキングクリップの配置をですね上部の方が、下に摩擦があることを考えると、上部の方が先に開放するという設計にしております。で、
2:49:53	皆さんおっしゃられる通り下の方が、
2:49:56	開きにくく残ってしまいますので、下の方の荷重が
2:50:02	しばらく続くというものです。これ平均変位で書いておりますのでこんな形になっております以上です。
2:50:13	はい。三浦です。
2:50:14	ちょっと気になったのがですね、今言った下部の方が摩擦力が影響してるということになると、その抵抗力が思ったより大きいんじゃないかなって感じがしました。
2:50:26	そうするとまず係数が少しアンダーエスティメートになってるのかなっていう気持ちなんですけどその点についてはいかがでしょうか。
2:50:35	中国電力のコウゲです。この最大荷重が、
2:50:42	4点で違った時刻に出てくるようになりますうし下の方が遅く開くというようなこともあってですね、ただその最大荷重同士をタダウチ合わせたものと同時刻性を考えた図の、
2:50:58	2-1Eとかの図の最大荷重を比較しても、大差ないということを確認しておりますので、下の挙摩擦の影響がそれほど大きいものではないというふうに思っております以上です。
2:51:16	はい、三浦です。大体、あれですか想定されたんす。設定値っていうか設計値、大体いいとこ行ってるという理解をすればよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:28	おっしゃる通りです。
2:51:30	先ほどの2の1の図とかを見ていただきますと、上の点線と下の点線が、それぞれ上限下限になっておりまして、そのちょうど中央辺りで開くってというようなところをターゲットとして設計しておりますので、
2:51:43	最大荷重としてもちょうど中央辺りに分布しているということと、最大時刻歴、時刻ごとに異なる4点、荷重点4点の、
2:51:54	総合を見てもそれほど大差ないところに落ちてるところで安定した開放挙動を確認したと思っております。以上です。
2:52:05	はい。規制庁の三浦です。今のご説明理解できましたありがとうございます。私からは以上です。
2:52:12	規制庁の服部です。他にリモートの方で確認したい。
2:52:17	事がある方おられますでしょうか。
2:52:19	規制庁チギラですが、すみません資料11のパワーポイントの29ページちょっとだけ確認なんですけどよろしいでしょうか。
2:52:29	規制庁の服部ですはいお願いしますどうぞ。
2:52:32	はい。今回第4保管エリアを形状変更されたということなんですけど、この変更後の図のところですね、その第4保管エリアの西側。
2:52:44	で、アクセスルートと接続する面なんですけど、ここのところで出入口部ってというのが、緑の矢印で書かれているんですけど。
2:52:55	埋め戻し動の範囲について、これちょっと無条件で出入口部として設定するように見えるんですけど。
2:53:05	そのような設定とするのか、ちょっとそこをちょっと確認させてください。
2:53:15	中部電力の藤本です。変更後の方等南北方向で今、緑矢印で1回と言いますが現在の土岐森井の部分も含めて設定をしておりますは沈下等の地震を、の状況に応じて取れば、
2:53:29	等の意味合いで出入口の方を設定をしております。以上です。
2:53:36	規制庁PISAと、今のお話ですと、
2:53:41	通れば通りで何、何、何かしら、対策、
2:53:46	検討をした上で、
2:53:49	出入口部として設定するってということでしょうか。
2:53:56	中部の藤野先生ちょっと説明がされておりました。重大事故の対応上期待しております衛生設備につきましてはすべて岩盤、岩盤部、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:05	北西を除くところに配置をしておりますので出入口も、そのミナミの岩盤に接しているアクセスルート、洞道れば確実に通行することができます。
2:54:16	北西部の拡張に置いておりますのはそのSA設備外になりますので、
2:54:21	対策等々を行わずにその地震の状況に応じて、東レを通るという意味で設定をしております。なのでこの矢印以外の森ビル以外のところにモデル近くをしておりますので作業成立性上影響はございません。以上です。
2:54:37	規制庁のチギラです。この緑の矢印が南側は岩盤部で、それは無条件でいいと思うんですけど、この西側のところの谷内理事の出入口のところは今のお話を聞くと、
2:54:51	ちょっとレベル感が違うのかなっていうふうに思ったんですけどその辺は識別土とかなくて大丈夫ですか。
2:55:04	中部の藤元です。ご指摘の通りですが南野ダムとの差がございますので表現の方検討したいと思います。以上です。
2:55:15	はい、規制庁とりあえず、わかりました。私から以上です。
2:55:21	規制庁の服部です。
2:55:26	これは次回のヒアリングで聞こうと思ったんですけど今その話が出たので少し確認だけさせていただきます。
2:55:32	藤北川の奥にある青い可搬型重大事故等対処設備について、
2:55:39	例えば、今の、
2:55:41	埋め戻しのところがすべて沈下して通れなくなった場合、
2:55:47	出られないと思ってるんですけども。
2:55:49	その点についてはいかがですかどうぞ。
2:55:54	はい。ちょうどコープデリのフジモトです。この図の主要部分に変更後だと斜めにコンクリート置換分としまして地震発生しても通行ができる場所を確保しております。
2:56:08	なので北側の車両につきましても南下して行って、項目移動時間を通りまして江田南川の江森矢印の出入口部から、アクセスルートにアクセスすることができます。以上です。
2:56:21	規制庁の八田ですはい。わかりました。ちょっと詳しくはまたヒアリングの時に、アクセスルートのヒアリングの時にきちっと、もう少し詳しく聞きたいと思います。
2:56:32	以上です。以上です。
2:56:34	他に耐震側から確認しておきたい点があればお願いしますどうぞ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:40	規制庁植木です。すいません。パワーポイントのですね、3 ページ。
2:56:46	なんですけど。
2:56:47	ちょっとすごい基本的なことを教えてもらいたいですけどこのブローアウトパネル閉止装置って
2:56:56	NS 桃原室のタービン側についてるブローアウトパネルあると思うんですけど、そこも二次格のバウンダリになってるんですけど、そちらは、
2:57:07	併走チーがいない理由ってのをちょっと教えていただきたいんですけど。
2:57:13	中国電力の中嶋です。ブローアウトパネル閉止装置については基準地震動 S s によって対応してしまう、オペフロのブローアウトパネルに対してその開放後に閉止できる。
2:57:24	ように設置しているものでして一方で今ご指摘のあった MS トンネル室のブローアウトパネルについては、DC ドイ説でも開放しない。
2:57:33	あと補足説明資料⑩の中でも、加瀬⑲、⑩の方でも示しておりますけども、確認をして、
2:57:41	おりますのでマイセージ、それ以外で開放。
2:57:44	期待しているものでもございませんので、要は SA 時に、兵士再閉止というのが必要という状況。
2:57:52	になるものではないので、設置対象外としております。以上です。
2:57:58	規制庁植木です。わかりました。
2:58:02	すいません。関連して聞こうと思っていたのが、資料の 9 ですと施策表の方で、
2:58:11	まさにちょっと今の話ですね
2:58:15	ことで聞こうとされていてその 6 ページ。
2:58:21	のところでまずオペフロ DOP に関しては、A ポツの自然現象及び人為事象のところの一番最後の方ですか SD で開放しない設計をすることに対して、
2:58:36	8 ページの方がですね (2) の MS トンネルっすわ。
2:58:41	SS で開放しない設計とするというふうになっていて、後ろの方を読んでいくと要求機能としては両方とも、
2:58:53	SD に対して、
2:58:57	開放しない設計なんだけれども、一応性能目標ですか、設計上の、
2:59:05	としては MS トンネル室に関しては、SS を使っているということ、
2:59:13	というふうに理解して、何でかなというのを質問しようと思ったんですが逆に言うとその、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:19	BをPの閉装置をつけ、つけなくてもいいよ、DNSとんねるずのBOPはSS。
2:59:28	開放しないようにしているということ、という理解でよろしいんでしょうか。
2:59:36	中部電力の中嶋です。小倉のブロアートパネルとMSのうちのブローアウトパネルでそもそも少し構造が異なっておりまして、ほとんどの方はすいませんすでにご存知のことかもしれないですけど一応説明させていただきますと、小黒の方クリップタイプ。
2:59:51	規模も4メートルか4メートルぐらいのサイズで、SS、今で言うとその要求事項のSDを超える地震動。
3:00:00	と、あとはもともとパネルの開放機能として要求されてます。原子炉棟内のP大きいところでPCVの設計がやつを上回らないように、先にオペフロのプロファイルを開放するというところの
3:00:15	どちらも成立させるためについていうところで開放機能としてのその、
3:00:20	必要配布再圧力というんですかね、当社で言うと6.9キロ以上以下ですけどもそこを守りつつ、地震動に対してもSS本使い過ぎまでかかっていうところで
3:00:33	評価をした結果SDまでだったら開放させ、
3:00:36	ないことができますけどもSSだと、同社がやはり、メンバーを的に対応してしまうと。
3:00:41	ということから閉装置をつける対象としております一方でMSトンネル室の方はラプチャータイプ。
3:00:47	ですので目黒ごとにも松木ゴムが一番1枚複数、小さいものが複数組み合わせで設置しているタイプですけどもそれについてはその面が異なる、考慮しても、
3:01:00	規定の開発力と、基準地震動Ssどちらも満足できると。
3:01:04	いうことを確認しておりますので
3:01:07	地震時にも開放しないっていうことで、ヘリ措置対象外として、
3:01:12	それでも、先ほどの間、
3:01:14	やり方でいくと、例えばそのオペフロのブローアウトパネルがそのPCVのその外圧等の辺りを考慮した上で、開放機能を成立させた上で、基準地震動Ss、
3:01:25	2でも稼働しないような設計ができるのであればもうプロの方も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:28	装置については、不要な整理ができたかもしれないですけどもちょっと実態としてそういうことはなかなか難しいのでオペフロの方は閉装置の設置ということにしております。以上です。
3:01:40	規制庁出来です。はい。経緯はよくわかりました。それ多分先行からです。ねDOPに関して、解放する地震動、
3:01:52	がSDなのか、SDでいいのかとか、あと圧力に対して会合しなきゃいけないということで、先ほど説明されたように、かなり難しい。
3:02:04	設計っていうか、それで結果的に先行はSDっていうふうになってると思っていて、
3:02:12	それと
3:02:15	事故等、地震動の組み合わせの考え方もあわせて、
3:02:19	西川くんなのでSDということになってると思うんですけどよ。要求機能としてそれ、今まさに説明された通りNSトンネル数は構造上Ss。
3:02:34	まで解放しないようにできるっていうことで、AとBを閉装置もいらなくなってるっていう流れかなあと思うんですけど、それって何かBP併走Gのところとかに、
3:02:48	そういう考え方、MSとNSはなぜつけなくてもいいのかとかっていうのは、書いてあるんですけど。
3:02:58	中国電力の中嶋です。補足説明資料の⑩のですね、
3:03:03	通しの9ページに整理をした表が、
3:03:06	ありましてブローアウトパネル関連設備に要求される機能の整理ということでちょっと先ほど私が説明も少し、
3:03:13	不足があったので補足させていただきますと、オペフロのブローアウトパネルとしては開放機能としては
3:03:20	地震、失礼します後です。ね政治の開放機能としては
3:03:24	ISろ過のときに開放機能期待をしておりますして、それで開放はどうしても地震以外でも開放機能を期待しているところがありますので閉装置が必要となってくると。
3:03:35	いうところです。一方でMsトンネル室の方については、圧力差の関係もありましてISLOCAのときには逆に閉止。
3:03:43	しているものとなっております。さらに一緒に開放しない。
3:03:48	ということでSAの時にその開放機能MSトンネルCのプロファイルは期待していない。
3:03:53	生活ヘッジも可能ということですので閉装置の設置は対象外と。
3:03:58	しております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:01	規制庁池田は、わかりましたちょっとこの表のですね文章も、
3:04:08	事前に読んだんですけどちょっと理解なかなかできなくて、多分この辺りはプラント側で、今までもいろいろ検討されてる。
3:04:18	ところだと思imasuので、特に
3:04:24	コメントはないんですけど、一応結果の経緯はわかりますありがとうございますございました。それともう一つ西郷なんですけど、
3:04:34	次資料11のパワポに戻ってですね先ほど、
3:04:40	とヨシザキの方から、試験の結果についてもう少し
3:04:45	拡充っていう話ありましたけど、加振試験の方から言うんですね、
3:04:52	今後、6ページ以降に、試験の結果があるんですけど、その加振試験として、ドイドイ、何ガルまでやったとかですね後、
3:05:08	こういう振動数が、3億をどうだったかとかその程度はやっぱり書いていただいた方が、いいかなと思っていてで、
3:05:17	多分この対ぶ一の
3:05:22	DOP、閉装置っていうのは今回始め、
3:05:26	だと思uんですけどそうすると、やっぱり試験で確認した内容というのを少し細かく、
3:05:34	先行と比べて細かく、
3:05:39	たくさんしていただくべきかなというふうにちょっと思ったので、さっき言ったようなやつもちょっと加えていただいた方がいいかなと思ったんですけどいかがでしょうか。
3:05:50	中国電力の中島です。了解いたしました資料の、記載を拡充検討して、いたしますちなみに構造としてはダンパの方式っていうのは当社がはずですけども全厚3社で女川さんも屋内設置で複数回英語を設置するっていうところは同様。
3:06:07	でして、そこで、まずは今、現状習った記載でしたけども、今のご指摘も踏まえましてちょっと記載拡充検討いたします以上です。
3:06:17	町長大江です。
3:06:19	よろしくお願いします以上です。
3:06:25	規制庁の服部です。他耐震がわかりますか。よろしいですか。
3:06:30	はいではプラント側にお返ししますどうぞ。
3:06:34	規制庁の井関です。最後の方に植木さんから話あったんですけど、先行との比較で、
3:06:41	例えば女川の資料で、ついてる何だ先行との比較で東海だと柏崎はスライド大分で、女川はその通りであったり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:52	もう1個、右側に島根のその、
3:06:56	ルーバータイプっていうかね、ダンパータイプっていうのを、何か比較を最後につけてもらうことは可能でしょうか。
3:07:08	中部電力の中島です今のそのパワーポイント資料の最後に比較、他社比較も、
3:07:14	付けるという認識でよろしいでしょうか。
3:07:17	規制庁の臼杵相磯の通りでございます。
3:07:24	中部電力の中主務です。了解いたしました補足説明資料の最終の方にあるちよっさんの比較の資料がありますけどそこは少し
3:07:32	要点抜粋したもので、関北井検討いたします。
3:07:37	以上です。
3:07:39	規制庁の遊佐です。これだと何ていう表現がわからないんで、外観っていうかね、それがわかるような、
3:07:49	Aがあるとよかったですけども。
3:07:53	そういう意味で今話したんですけども。
3:07:57	だってでしょ。違う。6年ナカシマつた者の外観も作られるということでしょうか。
3:08:05	最後に参考として先行電力との扉閉止装置の比較ということで、
3:08:16	中国電力なんかします。おそらくちょっと他所では構造マスキングされたりするところもあると思いますのでちょっと可能かどうか確認しますができれば私も設計されてなければ、
3:08:26	掲載しますけどもマスキングだったらちょっとその図は割愛いたします。以上です。
3:08:33	はい。よろしく申し上げますマスキングになってますけどそこはマスキングの黒枠で
3:08:41	表表示をしています。
3:08:44	マスキング版で表示すれば、見えるようになるということですね。
3:08:50	以上申し上げます。
3:08:52	大野です。
3:08:54	石崎さん。
3:08:56	よろしいですか。
3:08:58	何でしょう。
3:09:00	多分他社が比較していると、中国電力が入手する経路はあんまりなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:05	公開されてる情報だったらできるんですけど、他社がマスクングしてる情報を取ってきて、自社の資料として載っけるのはちょっと難しいと思います。
3:09:21	もらえないってこと。
3:09:24	規制庁、関根麻生です。先行で女川でやってるんで、可能であればそう。
3:09:31	要するに島根は他のサイトとも違うってのが一目でわかるので、可能であれば、図が欲しいというだけです。
3:09:39	以上です。
3:09:52	あ、規制庁ナカムラですすいません。パワーポイント資料の8ページなんです先ほど柚木からもあった江藤氏結果の拡充の話でちょっと、
3:10:03	の、なんですけど、加振後の気密性能試験で現状の規制だと早野開状態及び閉状態にて模擬地震は出が新保って書いてあって、で、
3:10:13	その下に表2で結果がなってるんですけど、こういったのは初期状態が会議だけになってるので、ちょっとここは
3:10:23	資料の結果の拡充で記載をされると思うんですけど、上の説明等合うように、閉状態については、記載はしていただくようお願いいたします。
3:10:36	中国電力の中島です。了解いたしました。
3:10:41	あとは規制庁眺めすいませんあとは10ページのところなんですけど、ちょっと、3ポツの系統機能への影響非常用ガス処理処理系の吸込口の話なんですけど。
3:10:53	3ポツ①の2番目の矢羽のところで、ちょっとヒアリング前半の方でも言ったんですけどこの机上評価っていうのは概算で机上でやってるということなんですけど。
3:11:05	これ、企業評価自体は変更前と変更後、どちらでやられてるんですかね。
3:11:13	中部電力の中嶋です先ほど説明した通りなんですけども吸込口の変更前後の
3:11:22	企業評価というよりはSEDの容量と、原子炉棟内の全体の体積、
3:11:29	を考慮しての、
3:11:31	単純計算といった単純計算なるかもしれないですけどもそれによる表計算結果、評価結果で出た数値不良数で250秒ということですので今回のその吸込口。
3:11:44	の計上。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:45	による、その評価の表。
3:11:49	評価の影響はない認識です。以上です。
3:11:52	規制庁ナカムラあすいません了解しました。というそのボリュームと、ファンの出力から、計算した結果が約 250 秒ってということですね。
3:12:05	下の方の、実機においてはっていうのが実際に変更前変更後で計測して、この結果なったってことで理解しましたありがとうございます。
3:12:16	規制庁の吉崎です。パワーポイント 26 ページ。
3:12:20	CAMSの、
3:12:23	計測範囲の変更のところで、ちょっとこれも書きぶりだけなんですけど。
3:12:27	26 ページの二つ目のヤマネで、格納容器ベント判断基準である。
3:12:33	水ダーン酸素濃度及びすか人限界である。
3:12:38	水素濃度、これだから、ベント判断基準であるってのは、酸素濃度。
3:12:44	だけにかかっている。
3:12:46	そういうことですかね。なんか、先ほどの何か。
3:12:49	水素濃度判断基準ではないっていうのが、
3:12:52	パワポの、
3:12:55	28 ページにあるんで、少し矛盾するのかなと思ったんですけど。
3:12:59	そこはいかがですか。
3:13:02	中国電力の古田です。ご認識の通りです。
3:13:06	以上です。
3:13:17	規制庁の井関です。関連電力の福間です。すいません、補足させていただきます。カ年元芦田ベント判断基準という言葉はですね酸素濃度だけにかかる言葉でございます。
3:13:30	で、可燃限界である水素濃度というところで、一旦切るような形になります。
3:13:37	以上です。
3:13:41	規制庁の関沢わかりました。
3:13:45	少々お待ちください。
3:13:58	規制庁な。
3:14:00	規制庁の服部です。リモートの方で、言い足りないことある方おられたらお願いしますどうぞ。
3:14:11	規制庁の服部です。ないようですので確認しました。はい。それでは、プラント側にお返ししますどうぞ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:14:19	規制庁仲間です。それはこちらからコメント以上になりますので最後に今日ノーコメントの確認をさしていただきたいと思います中部電力の方からよろしくお願いします。
3:14:35	中国電力内藤です少々お待ちください。
3:15:05	中国電力の中嶋です。今から共有しているんですけども確認されてきているでしょうか。
3:15:13	アクシーズのヨシザキさ見えています。
3:15:17	はい、お願いします。
3:15:19	はい、じゃあ、衛藤。
3:15:21	上田っていうかね、結構。
3:15:42	ちょうど僕ナカシマ失礼しました。それでは、ナンバー1からですけども、計測装置の関連で阿保節の22ページですが水素濃度について酸素濃度と同様に計測範囲変更による影響がないことを説明すること。
3:15:57	続いてナンバー2ですが同様の資料では、同じページですが注記の2について適正化すること。
3:16:05	続いてナンバー3で補足説明資料の格納施設の4ページで、差圧計の位置、設置高さ、
3:16:13	を説明することを、
3:16:16	N o. 4で同じ赤の施設のナンバーの、6ページで、排気ダクトの流路面積とトーラス室上部ハッチのあご面積について実際の面積を説明すること。
3:16:27	また排気ダクトの流路面積の考え方について図を用いて説明すること。
3:16:31	続いてナンバー5、同じ補足説明資料の6ページ例実機におけるパーツ発生時間について、変更前変更後の測定データを用いて説明すること。
3:16:41	続いてナンバー6で格納施設の4ページですが、重大事故等時におけるトーラス室の雰囲気が発注経営者場合のトーラス室以外の環境のリーダーにする影響について説明すること。
3:16:53	続いてナンバー7でパワーポイント3ページですけども、ずいきについてブロー貯める閉装置の関係性がわかるようにブローアウトパネルの拡大図を示すこと。
3:17:05	続いてナンバー8、パワーポイント4ページ、図2のPRAパネル閉止装置一式の全体概要図についてわかりやすいを修正し、わかりやすく図修正すること。
3:17:15	続いてナンバー9のパワーポイント4ページですか、通常大気中にどのような状態がわかる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:22	どのような状態かを下流に記載すること。また何杯しか同時に閉まることを記載すること。
3:17:27	続いてナンバー10 ですねパワーポイントのページでセルフロックの位置がわかるように記載を検討すること。
3:17:33	続いてナンバー11 のパワーポイント 7 ページですか人試験について試験の一覧。
3:17:39	を示すことを、新人のガル数について示すこととあと参考の個人属性についても示すこと。
3:17:47	続いて、補足説明資料の中でこれ単体の他の資料だと⑩ですけどもの方で 139 ページ劣後、これに東洋漏洩量という記載について告示を検討すること。
3:17:59	続いて、同じ資料の 148 ページ、大村セルフロックはE P Rの方で用いられていたかを確認すること。
3:18:07	続いてナンバー14 で、
3:18:10	説明資料 190 ページですけども、図 3-1 にケーシング及び保険料を追加することについてNo.15 ほど説明資料の 102 ページ、雨の開閉時の加速度計の取り付け方。
3:18:23	2 の違いについてですかね、を確認すること。続いて、
3:18:28	No.16 で補足資料ですが加振計画、施設試験計画時の考え方について説明すること、Y方向加振の妥当性。
3:18:38	また、単純化新城 3 号同時加振の比較について文書の結論を記載すること。
3:18:43	続いてナンバー170%ポイント 6 ページですけども短縮箇所について考え方を追記する高知県滞納概要図に前方追記する。
3:18:52	続いての 18. %ポイント 29 ページですが、第 4 保管エリアの拡張部分について北摂の説明書で説明する。
3:19:01	うん。
3:19:04	あと、説明すること。続いてナンバー
3:19:07	19、⑫の本設の。
3:19:12	247 ページですが、連絡するボックスカルバート構造から、15 組にする耐震評価を示す、
3:19:19	続いてナンバー25%ポイント資料と 29 ページ、第 4 保管エリアの西側の出入口部の表現について検討すること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:27	続いて 21 ページでボラタリティ措置の構造について他社比較をつける。ページ追加ですね、することずい最後ですがNo. 20人で、58 ページについて、気密試験の結果について。
3:19:41	閉の方の結果も載せること。
3:19:44	以上になります。細川山腰よろしくお願ひします。
3:19:49	規制庁のハットリです 18 番 19 番お願ひします。
3:19:55	18 番 19 番については、18 番違うな。本当だ。
3:20:02	18 番 19 番については、
3:20:07	今回のヒアリングに於いて、示す。
3:20:11	というふうなコメントをしたつもりはなくて、今後、ヒアリングについて確認しますよということ念押ししたことですので、
3:20:22	その旨等、
3:20:26	理解いただきたいと思ひます。
3:20:29	よろしいでしょうかどうぞ。
3:20:36	中国電力の森本です。認識は合っておりましてあとこの 1819 のところは、パワーポイントでも下の方に今後の予定として書いてますので、
3:20:48	一旦ここは削除させていただいて別の機会に説明ということよろしいでしょうか。
3:20:55	規制庁の八田です。はい具体的なですね確認はその機会にありますので、そこでコメントを残したいと思ひますので、このヒアリングにおいては、コメントとしては、
3:21:07	コメントしませんのでお願ひしますどうぞ。
3:21:11	中国電力の森本です。了解いたしました。じゃあ削除させていただきます。
3:21:54	規制庁大池です。すいません。10。
3:21:59	10 万だ。
3:22:06	16 番。
3:22:08	ですね、16 番の
3:22:11	Y 方向加振の妥当性について確認することなんですけど。
3:22:22	o n e 誇っ加振試験結果。
3:22:25	試験結果につい
3:22:27	て考察すること。
3:22:30	だったかと思うんですけど。
3:22:34	気は膀胱試験結果について、
3:22:38	考察すること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:22:42	はい中国電力のクラムスです。はい。各方向の結果から
3:22:48	応答の増幅の傾向とかです。ね。そういったところをきちんと考察してお示しするという内容だと理解をしております。以上です。
3:22:58	規制庁幾つそちらの方ですか。
3:23:03	うん。
3:23:04	そしたら、
3:23:09	Y方向加振云々のところは特にいらない、消してください。
3:23:28	はい。
3:23:32	Y方向加振結果について考察することっていうのはいらないので、
3:23:39	削除してください。
3:23:49	以上です。
3:24:11	規制庁の井関です 13 番で、
3:24:19	もう扇アンセーフロック IBM 来高齢、これも多分聞いたと思うんですけど。
3:24:26	基本的には恩田欧州で使われたものから、どういうふうな確認というか、物が違うのかと何だ、
3:24:36	単独で使ったものを集中して使う。
3:24:40	だとか、
3:24:42	ちょっと話もあったけど C スペックが、何で環境条件とかに、
3:24:47	ちゃんと見合うものなのかと。そそういう確認だと思ったんですけど、これはすごい、何かそこ。
3:24:54	大麦やだけを言ってるような感じになるんですけど。
3:24:59	欧州からの、
3:25:01	フォーマ
3:25:03	なんての持ってきたことについて、島根でどういうふうにして考えて設置したかっていうのを、
3:25:08	説明して欲しいということなんですけども。
3:25:19	中部営業部の中嶋です。了解いたした EPR で適用されていた段波に、
3:25:24	ついてあんの。
3:25:29	島根では適用することについて、もともとのその言っている場での目的。
3:25:35	具コードでも、その時に説明しましたけども今回、装置として用いることの妥当性について、
3:25:42	説明するように検討いたします。以上です。
3:25:49	規制庁の吉武笹井。よろしく申し上げます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:25:52	あとは、ちょっとゆっくり下に行ってください。
3:25:59	ね。
3:25:59	丹治君。
3:26:01	結論
3:26:02	寸法、
3:26:09	はい。
3:26:11	はい。それで、
3:26:12	OKです。
3:26:16	そのWebの方、上の方、よろしいでしょうか。
3:26:30	なければこれでいいと思います。
3:26:34	中部電力の中嶋です。ブローアウトパネルの関係のご指摘ですけども言い方、ご指摘もありますのでちょっと回答の時に同様の回答となることをちょっと
3:26:47	あると思いますけどもそこは
3:26:50	ないように、
3:26:51	よって例えばですけれども、
3:26:56	ナンバー8と。
3:26:58	Noだな。
3:27:01	など用ブローアウトパネルと閉鎖中日関係について、わかるようにということですので現状は4ページ側の全体概要Ⅱについては、
3:27:10	ご指摘いただきました補足説明資料の図。
3:27:13	見直そうとは思っていますけどもそれでブローアウトパネルとの位置関係装置関係というのが見えてくるかなと思っておりますので、
3:27:19	ちょっと同様の回答になるものも、
3:27:22	ありますので、
3:27:24	ご認識くださいというところです。以上です。
3:27:30	規制庁の井関際わかりましたそれはそうになってしまうと思いますので、
3:27:35	わかりました。
3:27:36	それでは上の方も確認するものがなければ、
3:27:42	本日のヒアリングを終わりたいと思います。
3:27:46	どうもありがとうございました。
3:27:50	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。